

令和8年度第1回 インターネット都政モニターアンケート

「東京の森林・林業と水産業」

調 査 結 果



調 査 実 施 の 概 要

1 アンケートテーマ

東京の森林・林業と水産業

2 アンケート目的

東京における森林整備と林業および東京産水産物や水産業に関する意識を把握し、今後の林業・水産業振興に関する施策推進の参考とする。

3 アンケート期間

令和8年7月2日（木曜日）から7月9日（木曜日）まで

4 アンケート方法

インターネットを通して、モニターがアンケート専用ホームページに回答を入力する。

5 インターネット都政モニター数

500人

6 回答者数

東京の森林・林業	497 人
東京の水産業	496 人

7 回答率

東京の森林・林業	99.4%
東京の水産業	99.2%

東京の森林・林業と水産業

1 調査項目

【東京の森林・林業】

- Q1 東京の森林との関わり
- Q2 東京の森林への期待
- Q3 「とうきょうの木」の認知度
- Q4 「とうきょうの木」の用途
- Q5 「花粉の少ない森づくり」の認知度
- Q6 森林の更新時に期待する点
- Q7 林業のイメージ
- Q8 東京の林業関係への就業
- Q9 東京都の森林・林業振興施策
- Q10 「東京の森林・林業」について（自由意見）

【東京の水産業】

- Q11 東京産水産物のイメージ
- Q12 東京産水産物の認知度
- Q13 東京産水産物の消費意向
- Q14 東京産水産物への期待
- Q15 水産資源の管理
- Q16 水産エコラベル認証制度
- Q17 職業としての東京の漁業のイメージ
- Q18 水産業の有する多面的機能
- Q19 東京都の水産業振興施策
- Q20 東京産水産物や東京の水産業について（自由意見）

2 アンケート回答者属性

【東京の森林・林業】

		モニター 人数	回 答		
			人数	構成比	率
全 体		500	497	-	99.4
性 別	男性	250	249	50.1	99.6
	女性	250	248	49.9	99.2
年 代 別	18・19歳	10	10	2.0	100.0
	20代	70	69	13.9	98.6
	30代	74	74	14.9	100.0
	40代	83	82	16.5	98.8
	50代	91	91	18.3	100.0
	60代	64	64	12.9	100.0
	70歳以上	108	107	21.5	99.1
職 業 別	自営業	41	41	8.2	100.0
	常勤	231	230	46.3	99.6
	パート・アルバイト	69	69	13.9	100.0
	主婦・主夫	67	66	13.3	98.5
	学生	26	26	5.2	100.0
	無職	66	65	13.1	98.5
居住地域別	東京都区部	344	341	68.6	99.1
	東京都市町村部	156	156	31.4	100.0

【東京の水産業】

		モニター 人数	回 答		
			人数	構成比	率
全 体		500	496	-	99.2
性 別	男性	250	249	50.2	99.6
	女性	250	247	49.8	98.8
年 代 別	18・19歳	10	10	2.0	100.0
	20代	70	68	13.7	97.1
	30代	74	74	14.9	100.0
	40代	83	82	16.5	98.8
	50代	91	91	18.3	100.0
	60代	64	64	12.9	100.0
	70歳以上	108	107	21.6	99.1
職 業 別	自営業	41	41	8.3	100.0
	常勤	231	230	46.4	99.6
	パート・アルバイト	69	68	13.7	98.6
	主婦・主夫	67	66	13.3	98.5
	学生	26	26	5.2	100.0
	無職	66	65	13.1	98.5
居住地域別	東京都区部	344	340	68.5	98.8
	東京都市町村部	156	156	31.5	100.0

※ 集計結果は百分率（％）で示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、合計が100.0%にならないものがある。

※ n (number of cases) は、比率算出の基数であり、100%が何人の回答者に相当するかを示す。

※ 複数回答方法・・・(MA)＝いくつでも選択、(5MA)＝5つまで選択、(3MA)＝3つまで選択、(2MA)＝2つまで選択

■ 東京の森林・林業

東京の総面積の約4割を占める森林（公園を除く）は、そのほとんどが多摩地域（奥多摩や高尾山等）や島しょ地域（伊豆諸島等）に広がっています。この都民の身近にある森林は、木材の供給をはじめ、水源のかん養や災害の防止、二酸化炭素の吸収による地球温暖化の緩和などの多面的な機能を発揮し、都民の生活に貢献しています。

今回のアンケートは、社会情勢の変化に伴う新たな視点を取り込みながら、東京における森林整備と林業振興に関する施策を推進していくために、都政モニターの皆様にご意見を伺います。

東京の木・森のしごと「東京の森林」

<https://mokuiku.metro.tokyo.lg.jp/forest/>



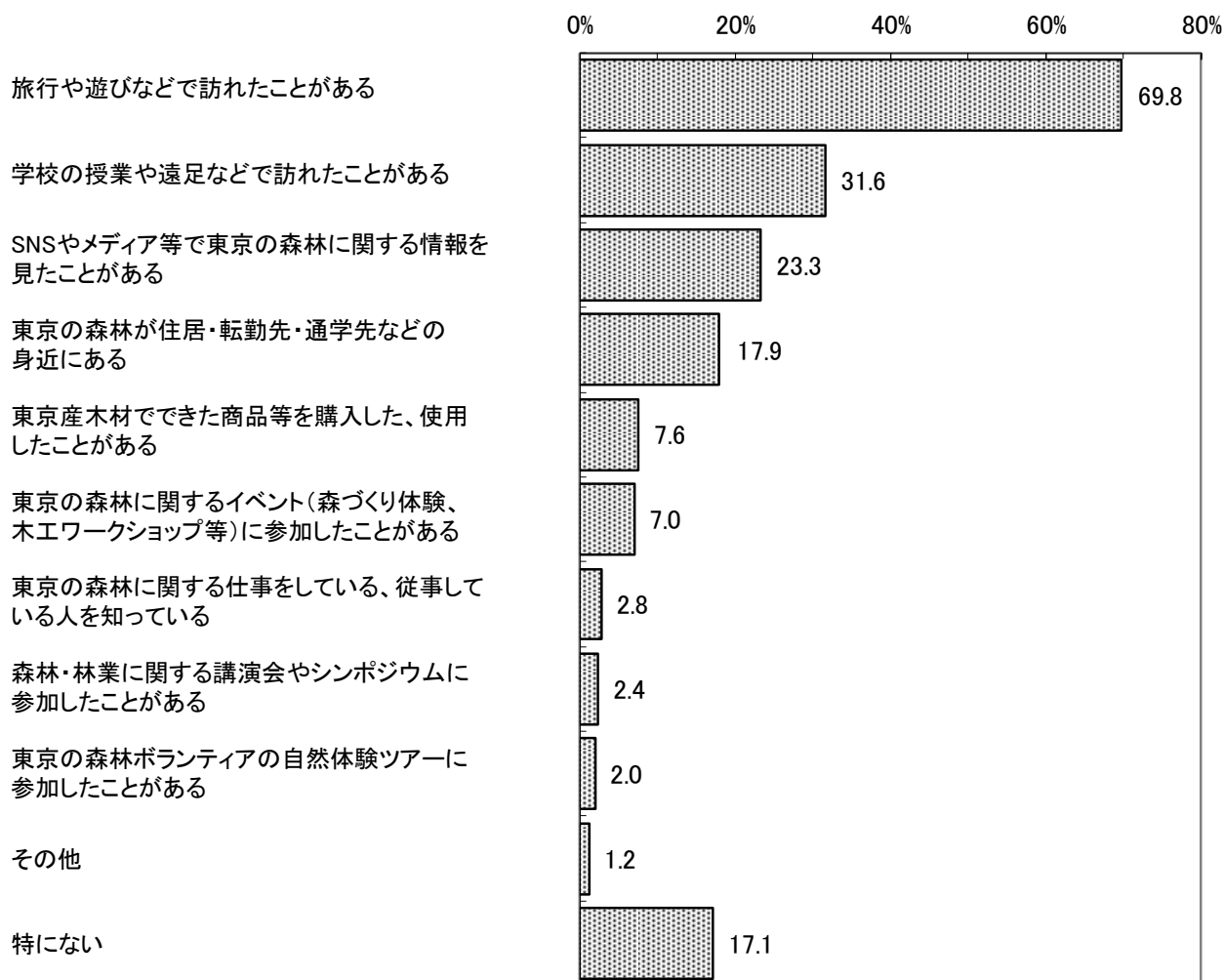
森林のはたらき <https://mokuiku.metro.tokyo.lg.jp/forest/3-4.html>



東京の森林との関わり

Q1 これまでに、東京の森林と接したり関わったりしたことがありますか。次の中からいくつでも選んでください。

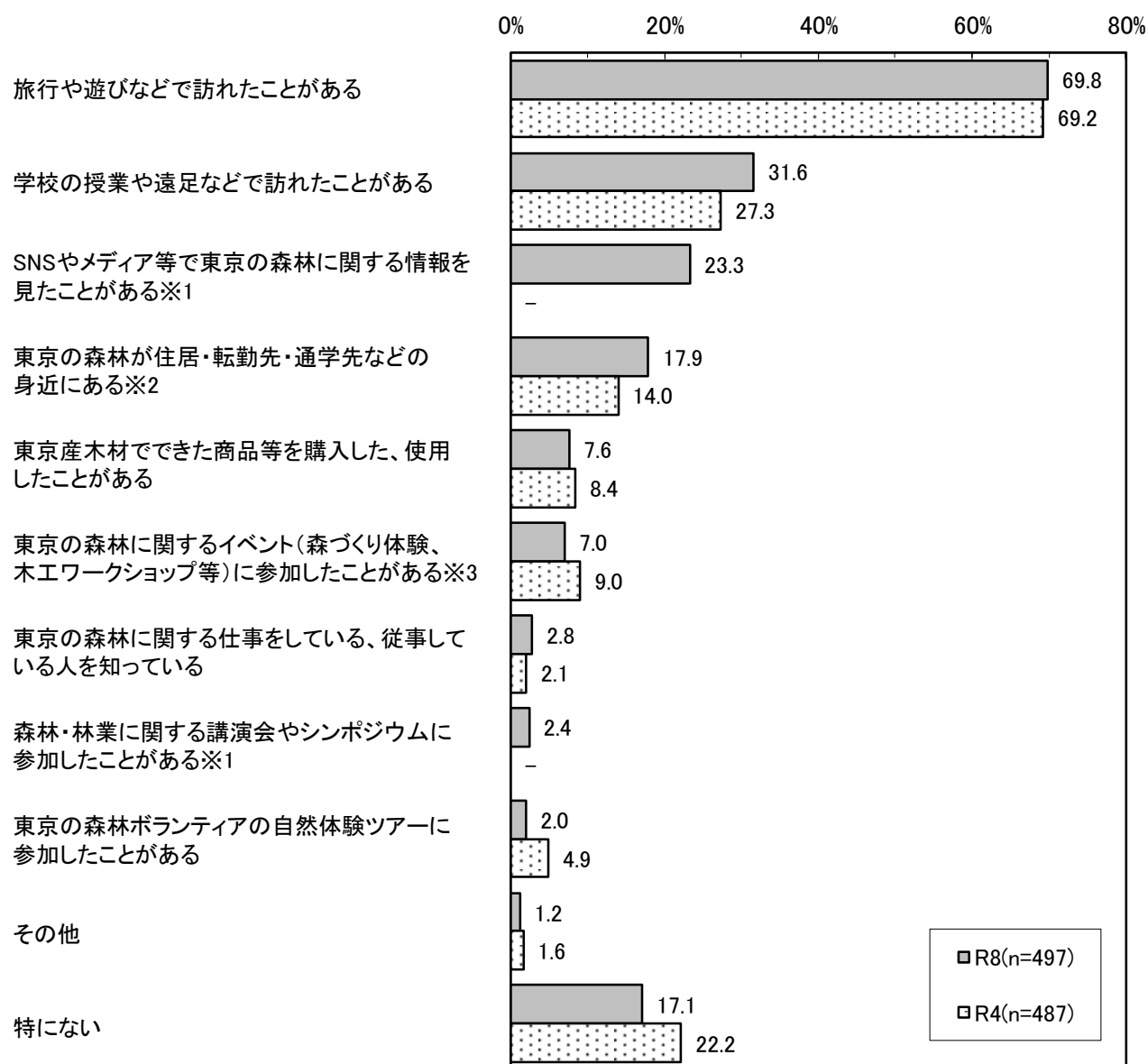
MA (n=497)



【調査結果の概要】

これまでに、東京の森林と接したり関わったりしたことがあるか聞いたところ、「旅行や遊びなどで訪れたことがある」(69.8%)が7割近くと最も高く、以下、「学校の授業や遠足などで訪れたことがある」(31.6%)、「SNSやメディア等で東京の森林に関する情報を見たことがある」(23.3%)などと続いている。

◎前回調査との比較 <前回：令和4年12月実施「東京の森林・林業」>



※1 令和4年度は選択肢なし

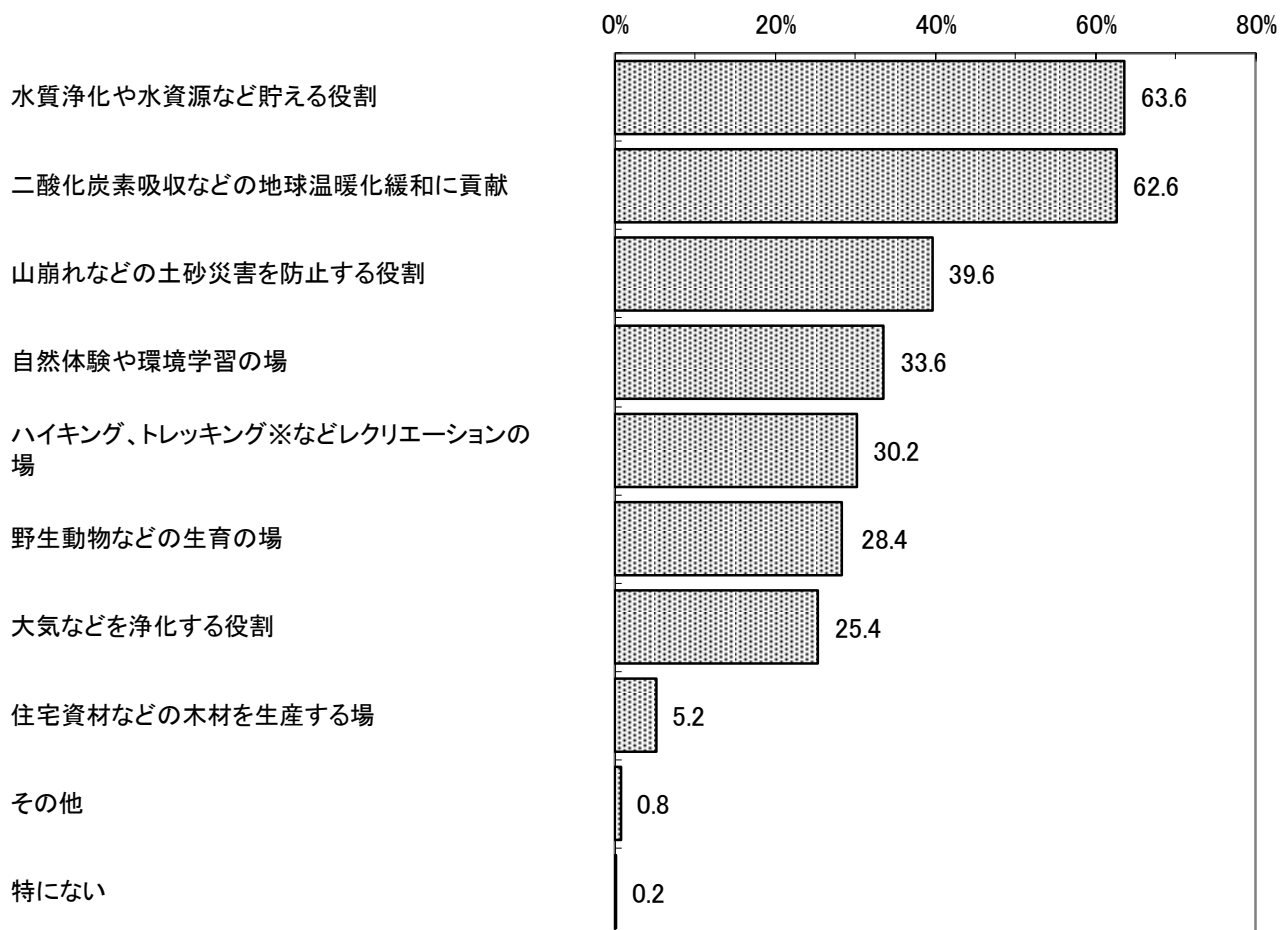
※2 令和4年度は「東京の森林が住居・勤務先・通学先などの身近にある」で集計

※3 令和4年度は「東京の森林に関するイベントに参加したことがある」で集計

東京の森林への期待

Q2 東京の森林にどのような機能や役割を期待しますか。次の中から3つまで選んでください。

3MA (n=497)

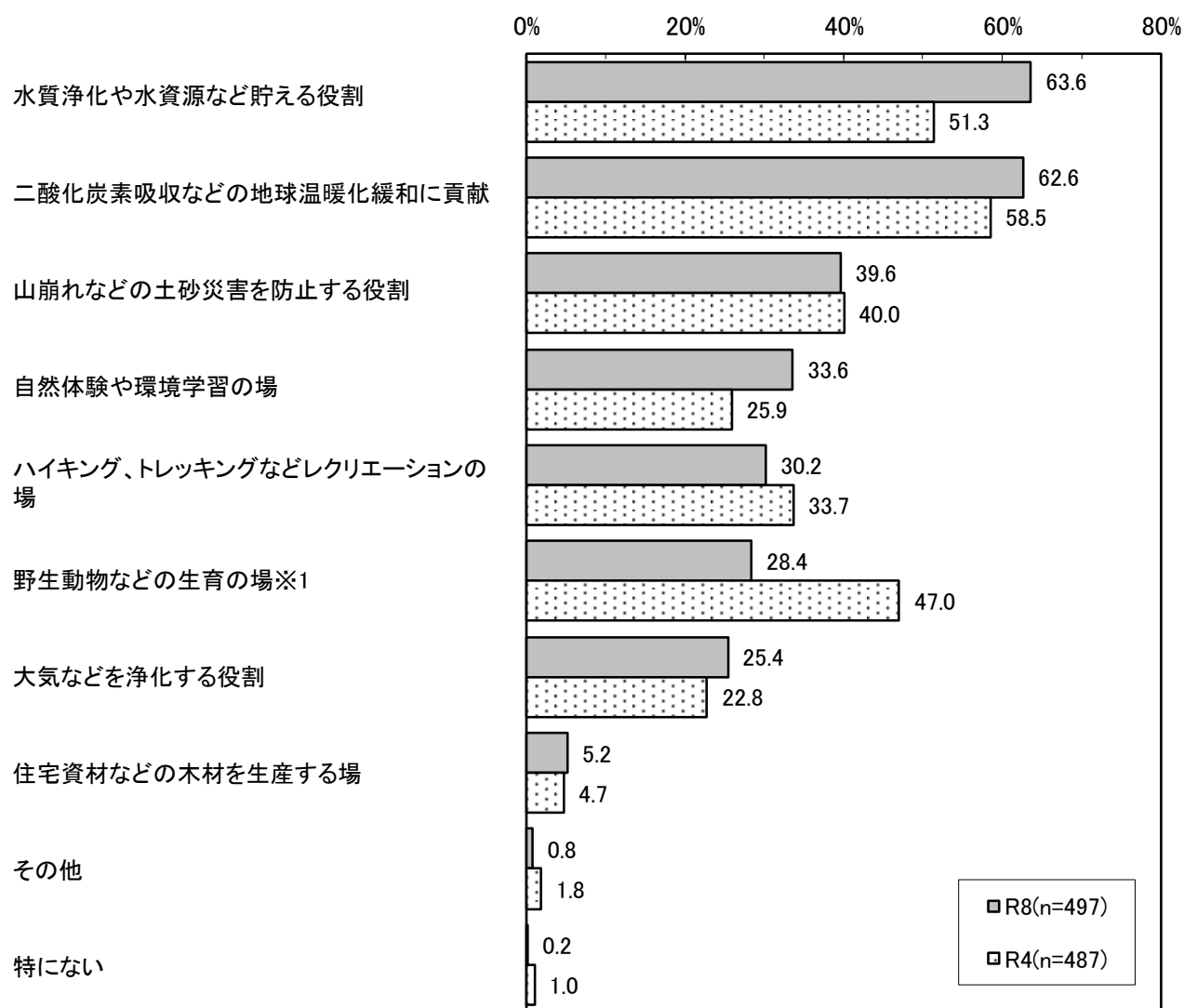


※ トレッキング…自然の中（山・高原・森など）を比較的長い時間かけて歩くアウトドア活動

【調査結果の概要】

東京の森林にどのような機能や役割を期待するか聞いたところ、「水質浄化や水資源など貯える役割」（63.6%）が6割を超え最も高く、以下、「二酸化炭素吸収などの地球温暖化緩和に貢献」（62.6%）、「山崩れなどの土砂災害を防止する役割」（39.6%）などと続いている。

◎前回調査との比較 <前回：令和4年12月実施「東京の森林・林業」>



※1 令和4年度は「野生動植物などの生息の場」で集計

「とうきょうの木」の認知度

【多摩産材】

東京の多摩地域で生育、生産された木材は一般的に「多摩産材」と呼ばれます。

●「東京の木多摩産材」

東京都の多摩地域で生育し、適切に管理された森林等から生産され、多摩産材認証協議会によって産地の証明と合法性が確認された木材が「東京の木多摩産材」となります。

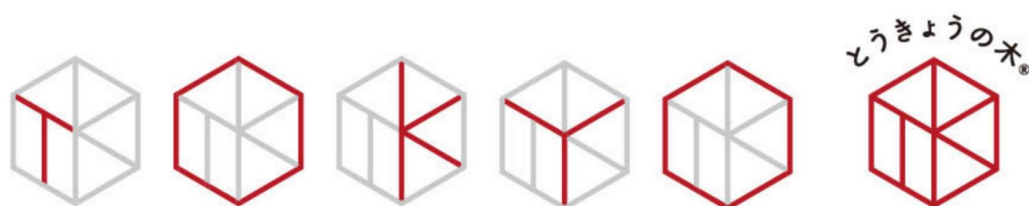
●「とうきょうの木」

「とうきょうの木」は、一般の方に東京の木多摩産材へ親しみを持ってもらえるよう、多摩産材認証協議会が公募のうえ決定した表現です。東京都でも、「とうきょうの木」の表現を用いて広報活動を行っています。

ロゴマークは、「TOKYO」の文字が隠れているデザインになっています。

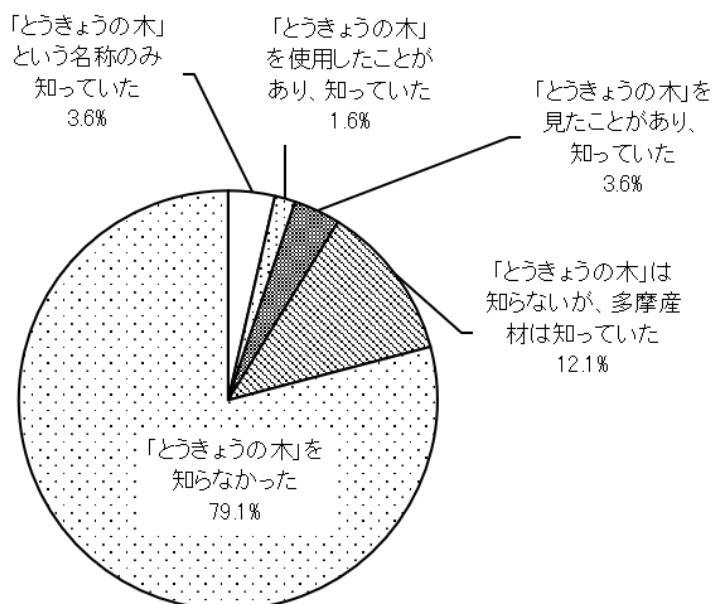
HP: <https://tokyonoki.jp/>

●ロゴマーク



Q 3 多摩地域で適切に育てられた木材は「とうきょうの木」と呼ばれています。あなたは、「とうきょうの木」を知っていましたか。

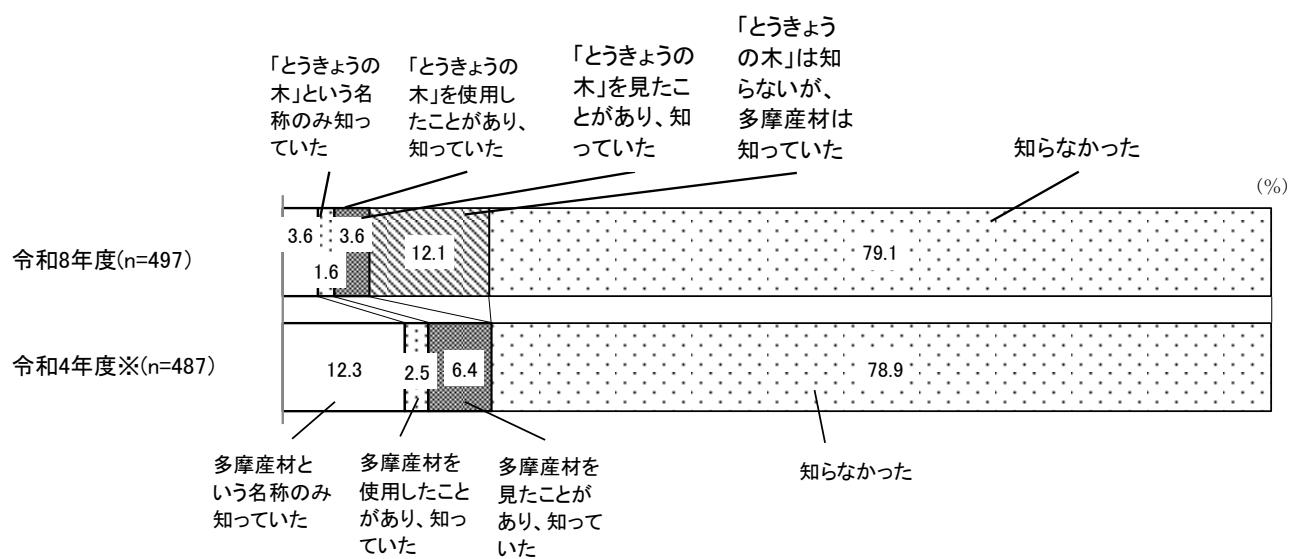
(n=497)



【調査結果の概要】

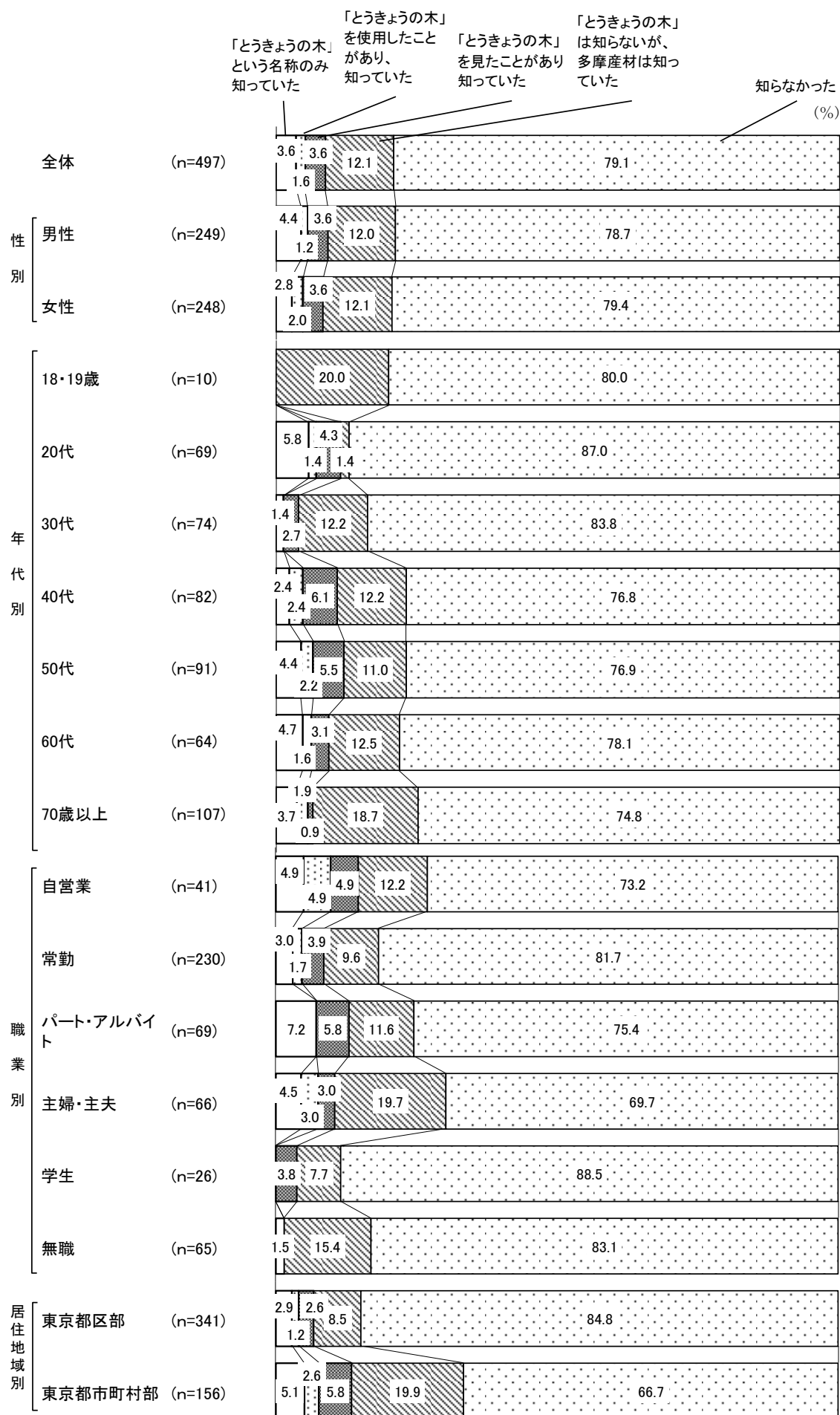
多摩地域で適切に育てられた木材「とうきょうの木」を知っているか聞いたところ、「知らなかった」(79.1%)が8割近くと最も高く、以下、「『とうきょうの木』は知らないが、多摩産材は知っていた」(12.1%)、「『とうきょうの木』を見たことがあり、知っていた」(3.6%)などと続いている。

◎前回調査との比較 <前回：令和4年12月実施「東京の森林・林業」>



※ 令和4年度は「多摩地域の森林で育てられた木材は、『多摩産材』と呼ばれています。あなたは、多摩産材を知っていましたか」でアンケート集計

◎「とうきょうの木」の認知度（属性別）



※未回答の選択肢については、0%表示を省略

「とうきょうの木」の用途

【とうきょうの木】

多摩地域から生産された木材の利用を推進することは、多摩地域の森林整備の促進に繋がります。多摩地域の人工林の整備が鈍化している状況の中、東京都は「とうきょうの木」の利用拡大やブランド力の強化を図っています。



「とうきょうの木」を使った例：都内のショールーム

【とうきょうの木の魅力発信拠点 TOKYO MOKUNAVI】

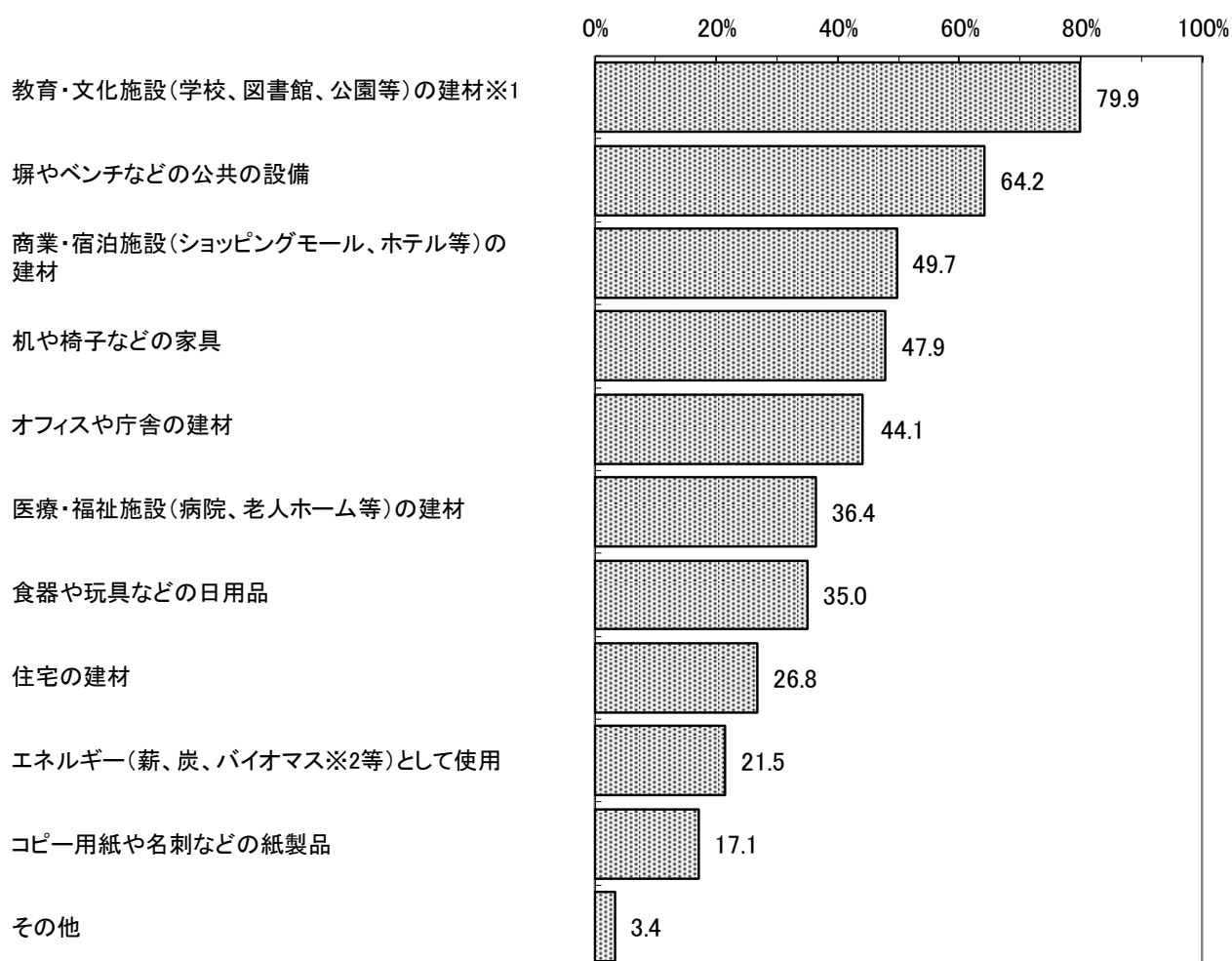
<https://tokyomokunavi.metro.tokyo.lg.jp/>

【国産木材の魅力発信拠点 MOCTION(モクション)】

<https://moction.jp/>

Q4 東京都は、「とうきょうの木」を、積極的に活用しようとしています。どのような用途で活用するとより普及すると思いますか。次の中から5つまで選んでください。

5MA (n=497)



※1 建材：柱などの構造材のほか、床板や壁などの内装材も含む

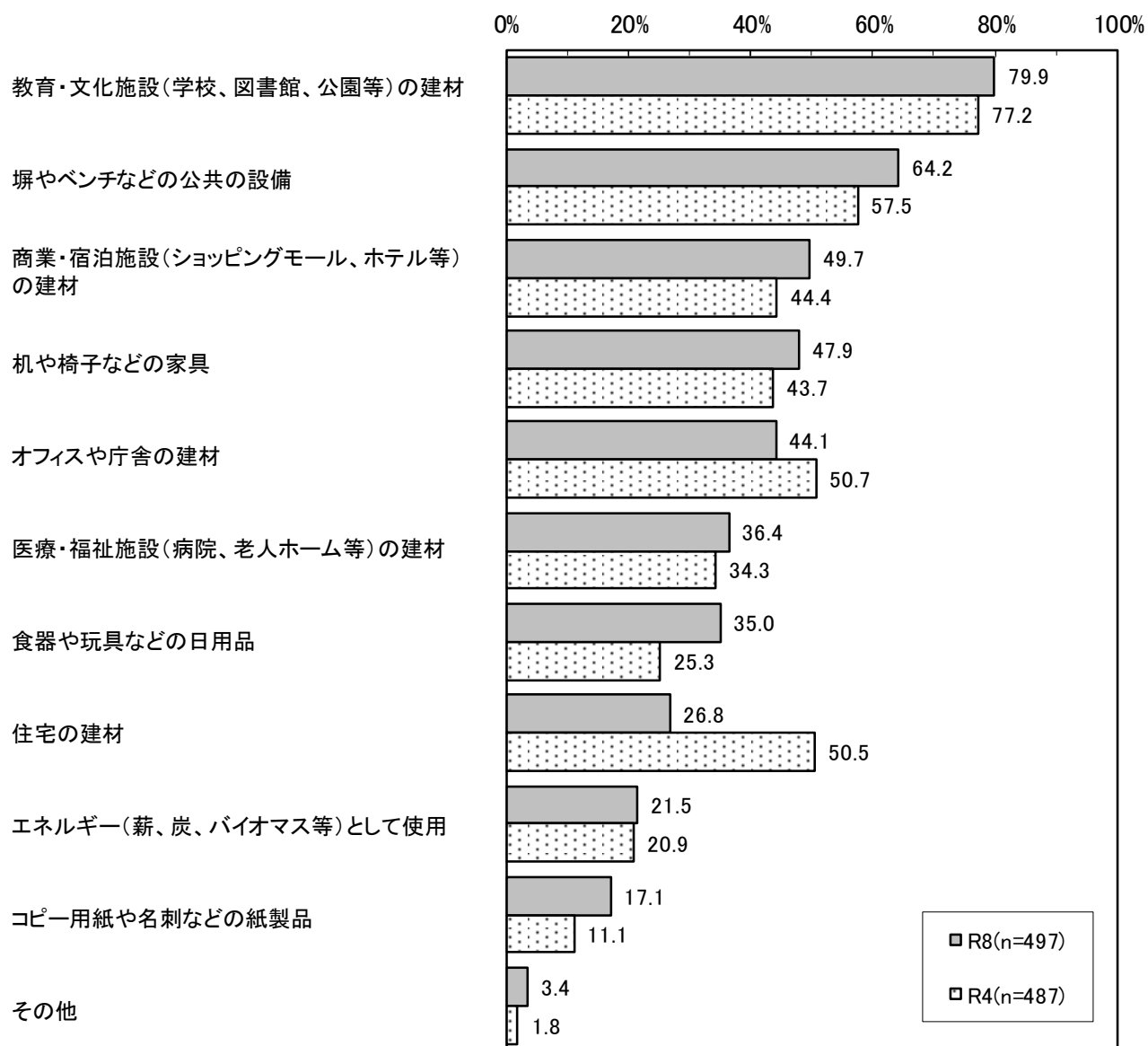
※2 バイオマス：化石燃料を除いた、生物由来の再生可能なエネルギー資源。利用できない残った木材や食品廃棄物、なたね等

【調査結果の概要】

「とうきょうの木」を、どのような用途で活用するとより普及すると思うか聞いたところ、「教育・文化施設(学校、図書館、公園等)の建材」(79.9%)が8割近くと最も高く、以下、「塀やベンチなどの公共の設備」(64.2%)、「商業・宿泊施設(ショッピングモール、ホテル等)の建材」(49.7%)などと続いている。

◎前回調査との比較 <前回：令和4年12月実施「東京の森林・林業」>

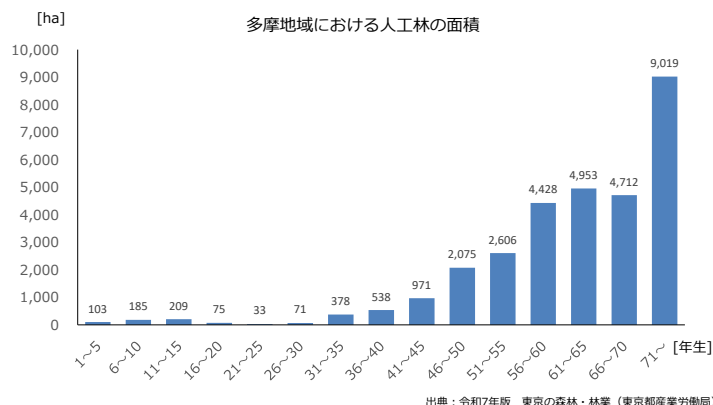
※令和4年度は「多摩産材」についての設問



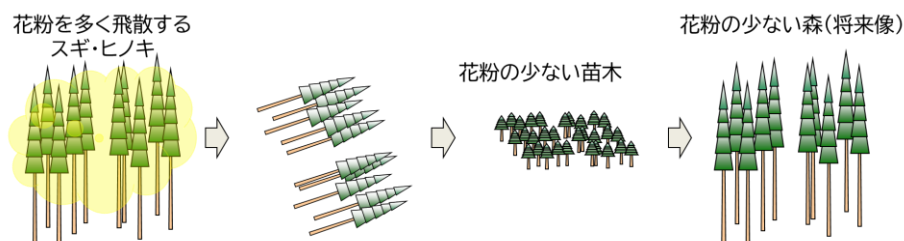
「花粉の少ない森づくり」の認知度

都内人工林の8割は、植えてから50年を超え、本格的な利用期に入っています。

こうした状況の中、多くの都民を悩ませている花粉症の対策として、多摩地域の森林において「花粉の少ない森づくり」を推進しています。



【花粉の少ない森づくり】



花粉の少ない森づくりは、森林循環（植栽、保育、伐採、木材利用のサイクル）を促進し、伐採した木材を、「東京の木多摩産材」として供給することで、林業の振興や地球温暖化対策にも寄与しています。

【森林循環の促進（主伐等）による花粉発生源対策】

<https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/ringyou/promotion/kafun/junkan/>

【花粉の少ない森づくり運動】

<https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/ringyou/moridukuri/undou/>

3つの取組

① 花粉の少ない森づくり募金

都民の皆様等から寄せられた募金を、「花粉発生源の杉伐採」と「花粉の少ない杉への植替え」にあてる仕組み

② 企業の森

企業や団体からの資金提供を受け、森林整備を進めていく制度

③ 森づくり支援倶楽部

花粉の少ない森づくりを継続的にサポートする会員組織



都庁設置募金箱



企業の森のしくみ

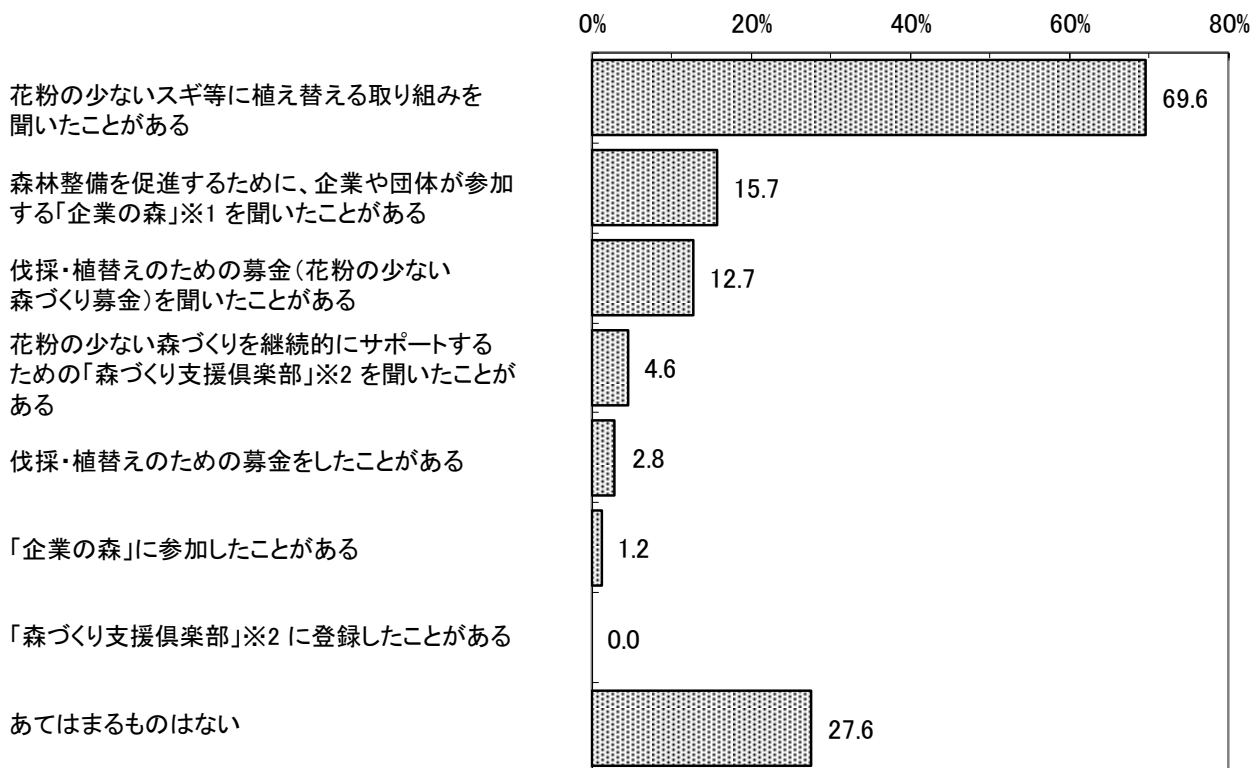


木工品
(とうきょうの木)

森づくり支援倶楽部の
会員特典例

Q5 東京都は花粉を多く飛散するスギやヒノキ林を伐採し、花粉の少ないスギ等に植え替えることで、森林の循環を促進し、花粉の発生源対策と木材の安定供給を図っています。次の中から、あてはまるものをすべて選んでください。

MA (n=497)



※1 企業の森…企業や団体からの資金提供を受け、森林整備を進めていく制度

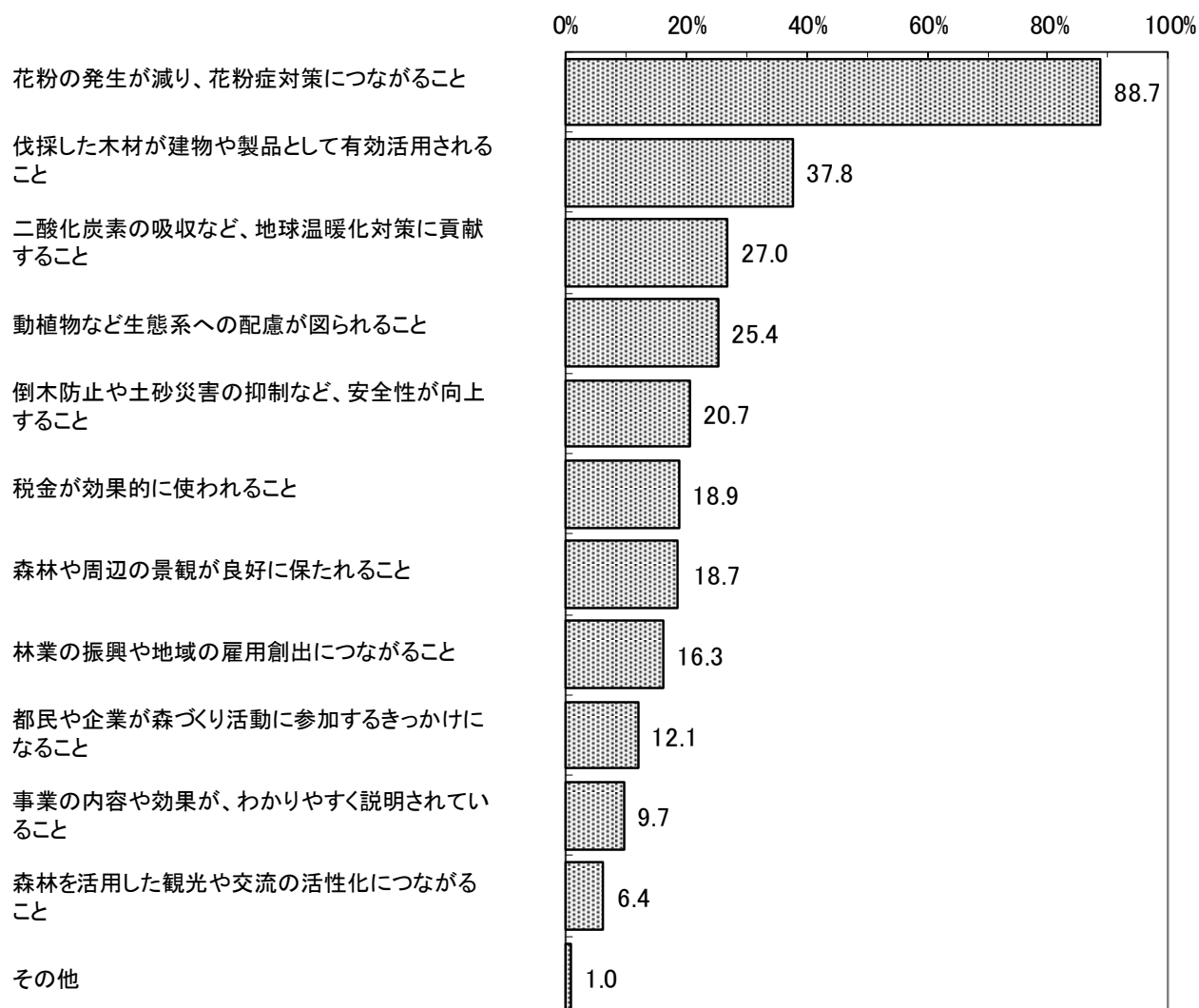
※2 森づくり支援倶楽部…花粉の少ない森づくりを継続的にサポートする会員組織

【調査結果の概要】

東京都が花粉を多く飛散するスギやヒノキ林を伐採し、花粉の少ないスギ等に植え替えていることについて聞いたところ、「花粉の少ないスギ等に植え替える取り組みを聞いたことがある」(69.6%)が7割近くと最も高く、以下、「森林整備を促進するために、企業や団体が参加する「企業の森」を聞いたことがある」(15.7%)、「伐採・植替えのための募金(花粉の少ない森づくり募金)を聞いたことがある」(12.7%)などと続いている。

森林の更新時に期待する点

Q6 花粉の少ない森づくりにおいて、特に期待する点を、次の中から3つまで選んでください。
3MA (n=497)



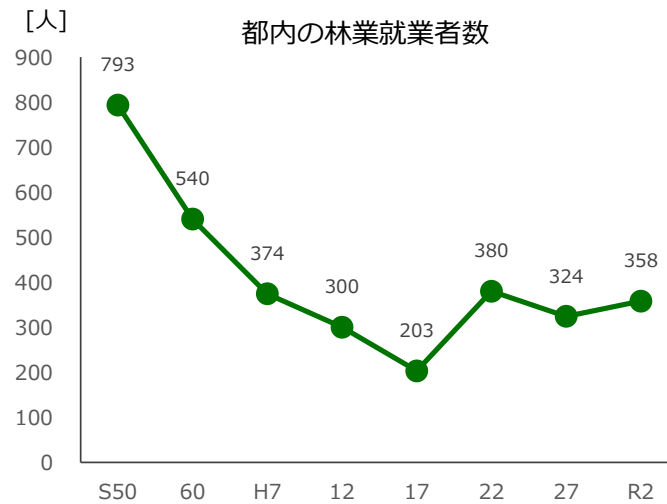
【調査結果の概要】

花粉の少ない森づくりにおいて、特に期待する点を聞いたところ、「花粉の発生が減り、花粉症対策につながる事」(88.7%)が9割近くと最も高く、以下、「伐採した木材が建物や製品として有効活用される事」(37.8%)、「二酸化炭素の吸収など、地球温暖化対策に貢献すること」(27.0%)などと続いている。

林業のイメージ

【森林整備の担い手となる林業従事者の不足】

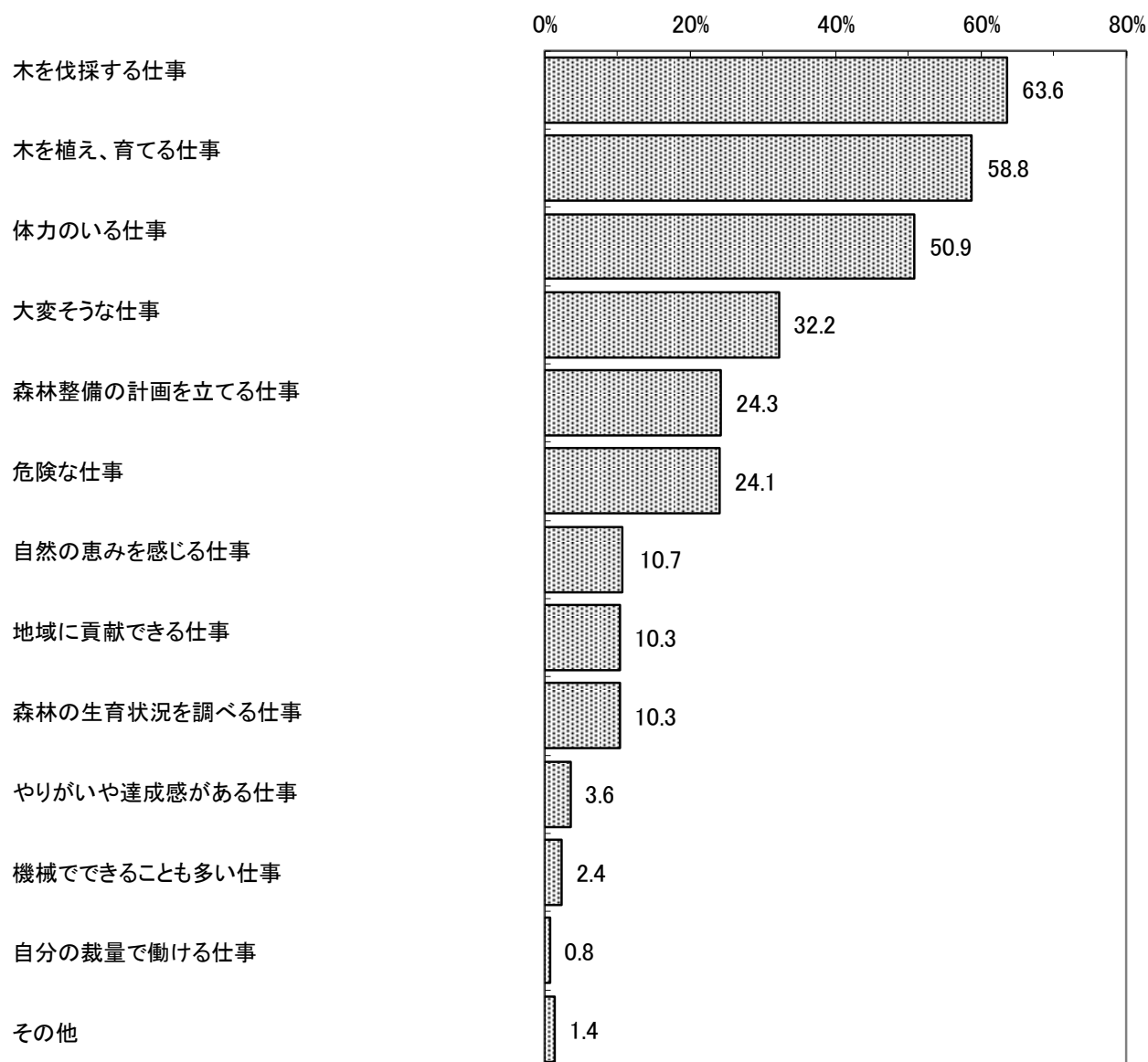
都内の林業従事者の総数は長らく減少傾向が続いていましたが、労働力対策等により近年はおおむね横ばいで推移しています。しかし、多摩地域の森林整備を着実に進めていくためには林業従事者が今なお不足しています。



出典：国勢調査



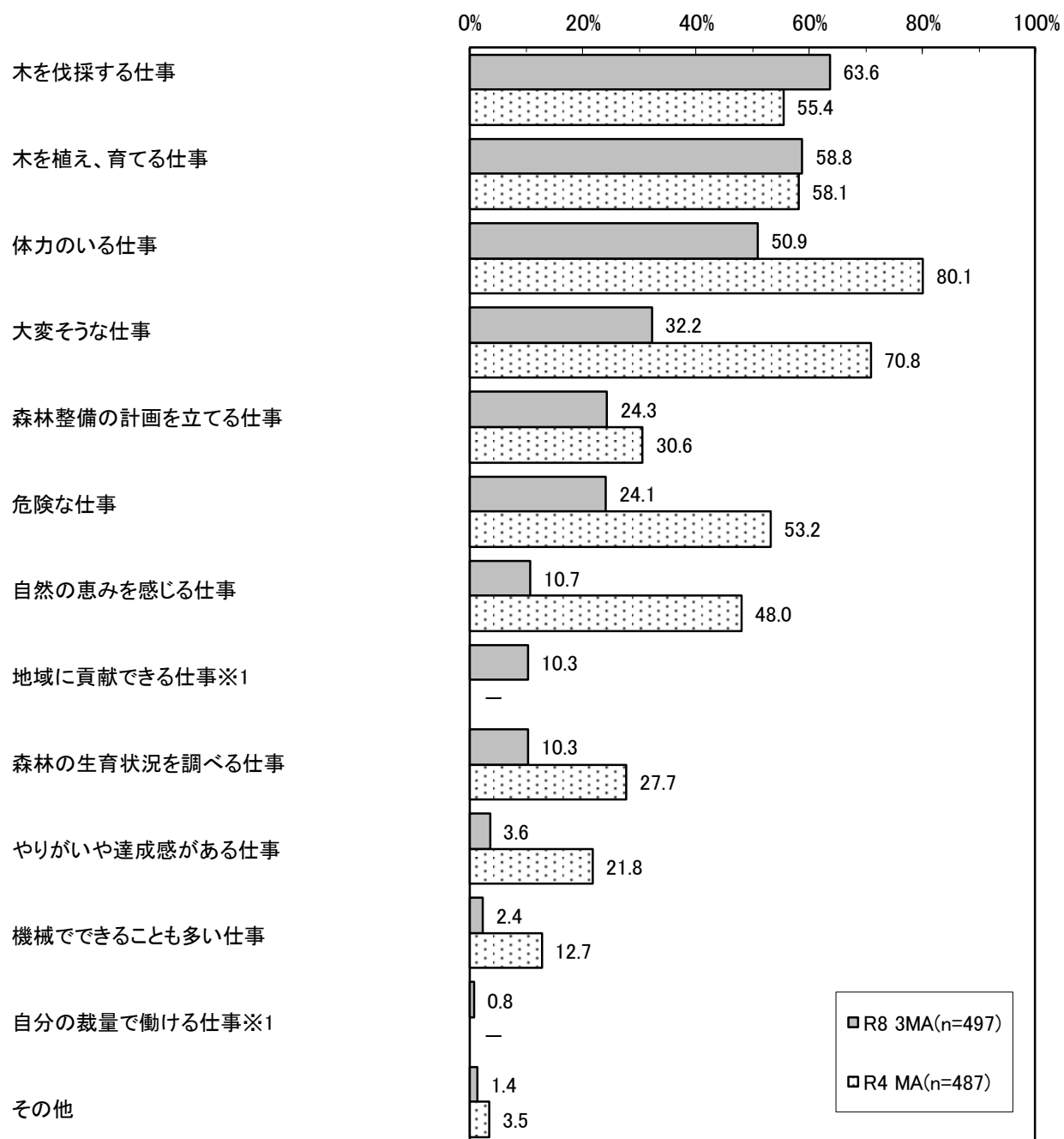
Q 7 林業にどのようなイメージを持っていますか。次の中から3つまで選んでください。
3MA (n=497)



【調査結果の概要】

林業にどのようなイメージを持っているか聞いたところ、「木を伐採する仕事」(63.6%) が6割を超え最も高く、以下、「木を植え、育てる仕事」(58.8%)、「体力のいる仕事」(50.9%) などと続いている。

◎前回調査との比較 <前回：令和4年12月実施「東京の森林・林業」>

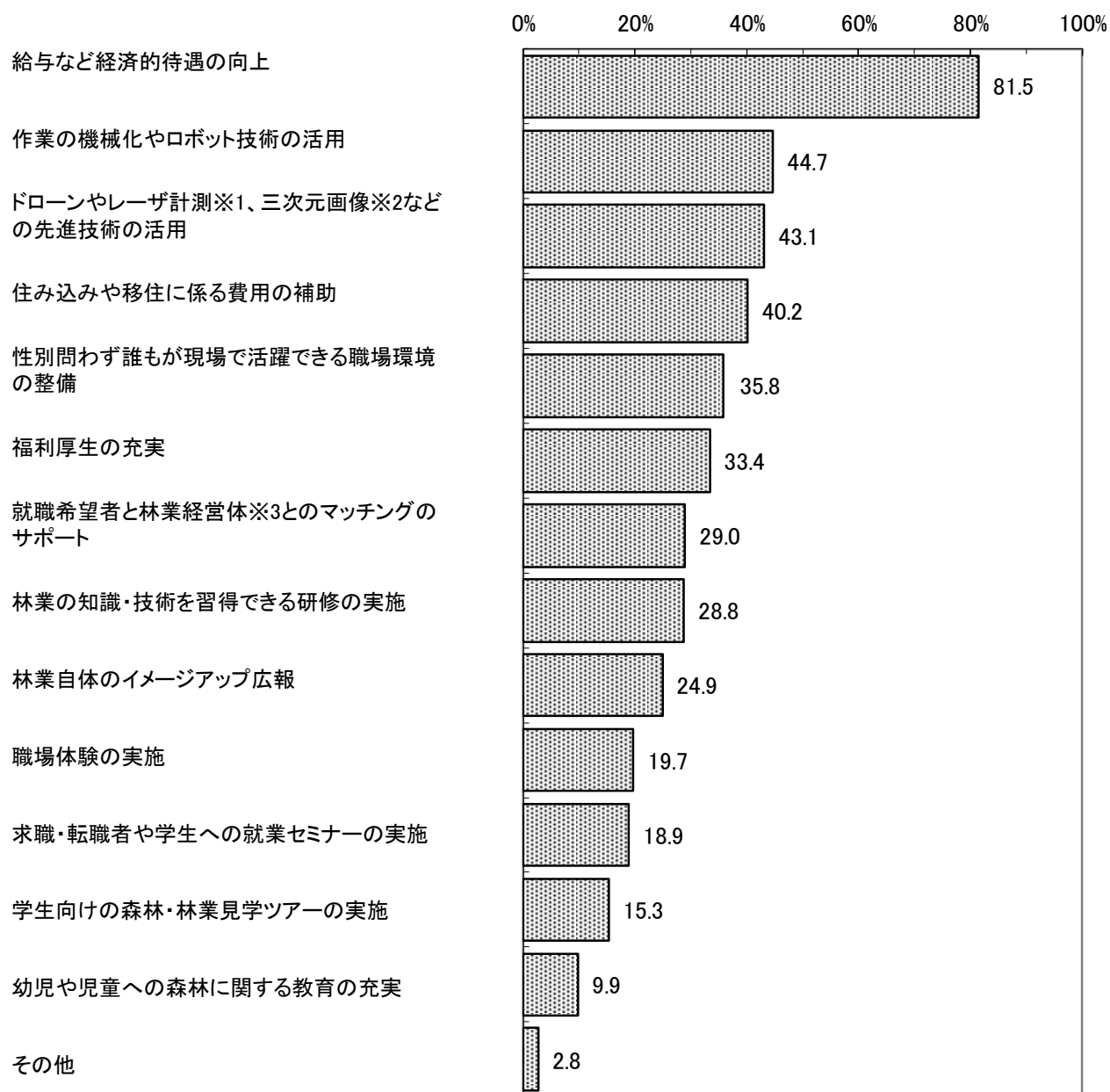


※1 令和4年度は選択肢なし

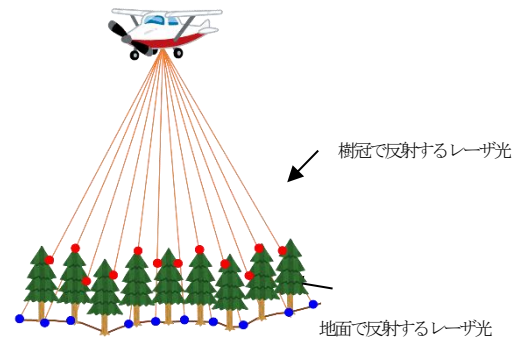
東京の林業関係への就業

Q8 東京の林業関係への就業者を増やすためには、どのような取り組みが有効だと思いますか。
次の中から5つまで選んでください。

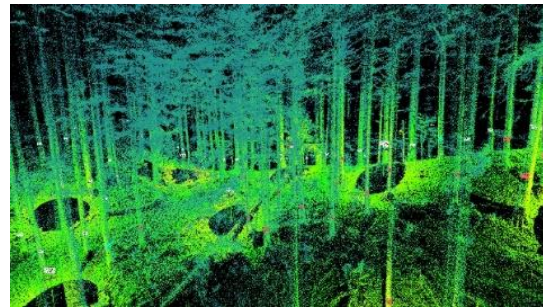
5MA (n=497)



※1 レーザ計測…航空機等に搭載したレーザスキャナから地上に複数のレーザ光を照射し、樹冠や地面から反射して戻ってきたレーザ光を解析することによって、標高や地表の形状などを調べる測量技術



※2 三次元画像…地上からレーザを照射することで得られる林内の3次元画像から、立木の樹高、胸高直径、曲がり、材積等を計測し、主伐や間伐の施業計画の作成や、収支見込みのシミュレーションを行うシステム

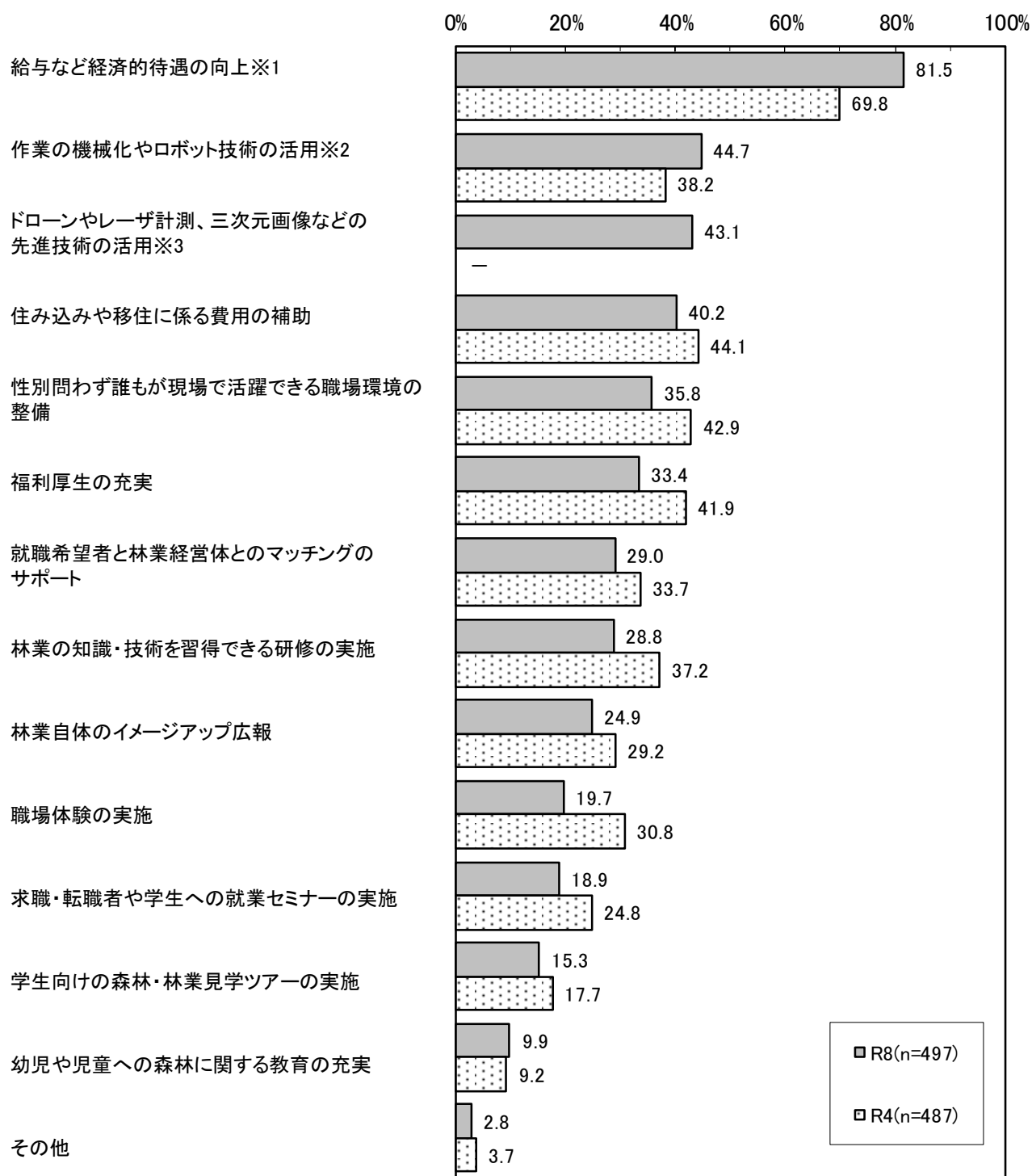


※3 林業経営体…林業にかかる生産活動を行っている経営体。事業形態（組合・会社・個人経営等）は問わない

【調査結果の概要】

東京の林業関係への就業者を増やすためには、どのような取り組みが有効だと思うか聞いたところ、「給与など経済的待遇の向上」(81.5%)が8割を超え最も高く、以下、「作業の機械化やロボット技術の活用」(44.7%)、「ドローンやレーザ計測、三次元画像などの先進技術の活用」(43.1%)などと続いている。

◎前回調査との比較 <前回：令和4年12月実施「東京の森林・林業」>



※1 令和4年度は「給与の引上げ」で集計

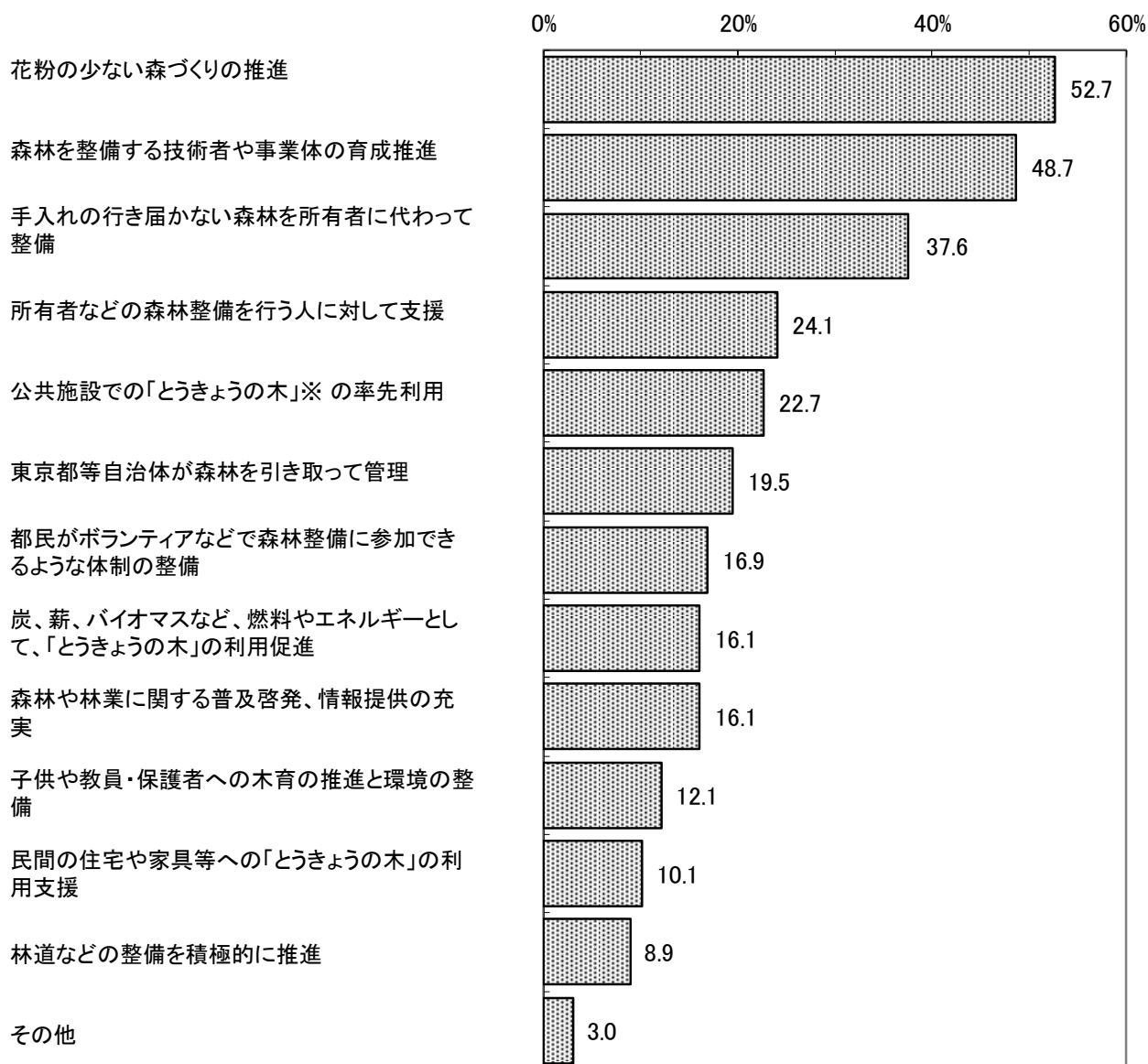
※2 令和4年度は「作業の機械化、IT化の促進」で集計

※3 令和4年度は選択肢なし

東京都の森林・林業振興施策

Q9 東京の森林・林業振興のため、東京都はどのような施策に力を入れるべきだと思いますか。
次の中から3つまで選んでください。

3MA (n=497)



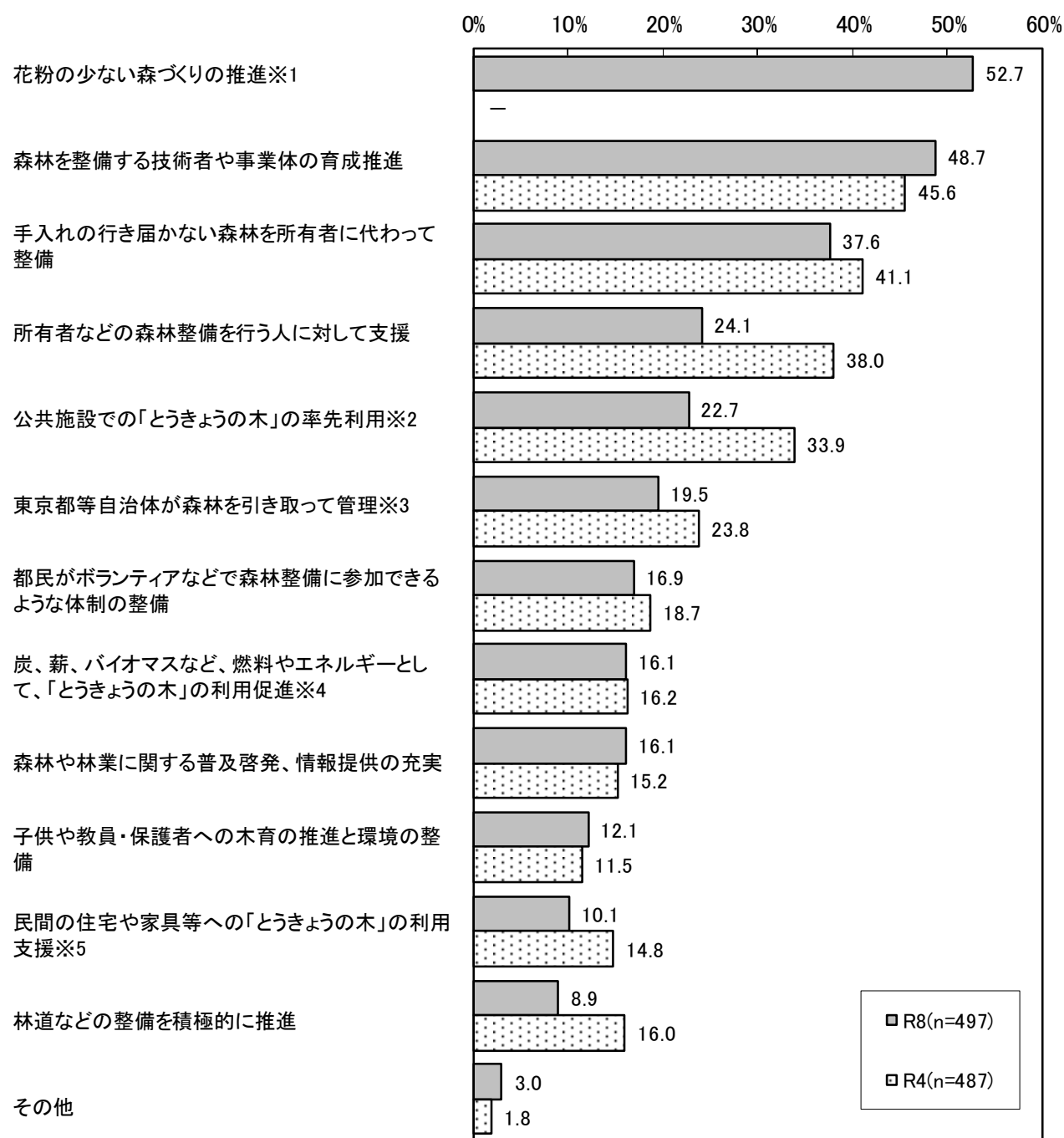
※とうきょうの木…東京都の多摩地域で大切に育まれた木材

HP: <https://tokyonoki.jp/>

【調査結果の概要】

東京の森林・林業振興のため、東京都はどのような施策に力を入れるべきか聞いたところ、「花粉の少ない森づくりの推進」(52.7%) が5割を超え最も高く、以下、「森林を整備する技術者や事業体の育成推進」(48.7%)、「手入れの行き届かない森林を所有者に代わって整備」(37.6%) などと続いている。

◎前回調査との比較 <前回：令和4年12月実施「東京の森林・林業」>



※1 令和4年度は選択肢なし

※2 令和4年度は「公共施設での多摩産材の率先利用」で集計

※3 令和4年度は「直接森林を買い上げて管理」で集計

※4 令和4年度は「炭、薪、バイオマスなど、燃料やエネルギーとして多摩産材の利用促進」で集計

※5 令和4年度は「民間の住宅や家具等への多摩産材の利用支援」で集計

「東京の森林・林業」について（自由意見）

Q10 東京の森林・林業について、意見をご自由にお書きください。（自由意見）

(n=484)

- | | |
|--------------------------|------|
| (1) 森林とのふれあい、イベント、広報 | 131件 |
| (2) 森林の管理・整備の取組 | 120件 |
| (3) 林業に関すること | 119件 |
| (4) 花粉症に関すること | 68件 |
| (5) 「とうきょうの木」、多摩産材に関すること | 46件 |

（主なご意見）

(1) 森林とのふれあい、イベント、広報 131件

- 若者の就業人口が少ない業種だと感じるので、昨今の働き手不足を解消する一手が必要だと思う。学生に向けた出前授業や現地学習として林業を採用するなどがいいと思う。
(男性 20代 世田谷区)
- 東京の森林や林業について、広く知られて従事者を増やすには、児童や生徒への教育が最も重要だと考える。学校以外で受動的に何かを学ぶ場は存在しないため、学校を卒業してしまうと森林や林業に興味関心がない場合に関わる機会は、ほぼないに等しいと思う。子どもを対象に林業について学んだり、森林と触れる機会をさらに作るべきである。
(女性 20代 武蔵野市)
- SNSを活用してもっと認知度を高めてもらいたいです。
(男性 30代 練馬区)
- 都心からアクセス出来る森林として、自然と触れ合う機会の創出を行い、ボランティア活動も通じて積極的に魅力を発信したら良いと思う。
(女性 40代 杉並区)
- 東京の林業や森林の役割を知らない人は多いと思います。そのため、まずは積極的な情報発信を行い、多くの人に関心を持ってもらうことが大切です。そして、関心を持つ人が増えれば、有識者の意見や市民からの新しいアイデアが集まり、より活発な議論や新たな取組につながると考えます。
(男性 50代 豊島区)
- 今回のアンケートで改めて森林・林業について知りました。雨量の増加や土砂崩れの多発など自然災害が増える中で、今後森林の役割を理解する必要があると思いました。義務教育の中だけではなく。キャンペーンとして一定期間都民に関心を向けられる仕組みを作る必要があるのではないかと思います。
(女性 50代 調布市)
- シニアでも働ける、もしくはボランティアとして参加できる環境や機会を作ってほしい。
(男性 60代 練馬区)

- 林業については、無関心な人が多いように感じます。もっと、大事な資源であることを周知することが必要と思います。

(男性 70歳以上 杉並区)

- 将来の東京のために、貴重な森を育て活用していることを知らない人が多いかもしれません。私も知らなかった一人です。東京都のインスタなどから森の魅力をもっとアピールするのも良いかもしれませんね。

(女性 70歳以上 三鷹市)

(2) 森林の管理・整備の取組 120件

- あまり森林・林業に興味関心がなかったが、色々な政策や対策を考えているのだなと知った。もっと自然と向き合って共存できる社会になってほしい。

(女性 20代 杉並区)

- 東京都の森林は、水源の涵養や土砂災害の防止、生物多様性の保全など、私たちの暮らしを支える重要な役割を担っていると思います。一方で、担い手不足や森林整備の課題もあるため、都民が森林や林業に触れる機会を増やし、木材利用の促進や環境教育を通じて、森林を守り育てる取組をさらに進めてほしいです。

(男性 30代 武蔵野市)

- 東京には多摩地域や島しょ部を中心に豊かな森林があり、水源の保全や土砂災害の防止、地球温暖化対策など、都民の暮らしを支える大切な役割を果たしていると思います。一方で、林業の担い手不足や高齢化などの課題もあるため、東京産木材の利用促進や森林整備への支援をさらに進めてほしいと考えます。都民が森林や林業に親しみ、理解を深める機会を増やすことで、森林を守り育てる意識が広がることを期待しています。

(女性 40代 北区)

- 森林・林業などは公共、そして共有していく対象だからこそ東京都などの自治体がこのように「どうしていったらより良くなるのか？」などの発信をしていくことが有効だと思います。このようにモニターの参加という形で知ったこともありますし、民間ではなく自治体だからこそ得意なアプローチであると感じました。東京にも自然が多くあり、日々その森林・林業などの自然に対してのより効果的な政策や運用をしようとしているのだという気づきになりました。

(男性 40代 八王子市)

- 野生動物の生育場所としての管理が必要だと考えます。またそういった取り組みをしているいいイメージを都民に伝えていくといいと思います。

(女性 50代 府中市)

- 山間地を歩いていると過去に植林された人工林の廃退が目立つ。管理、整備が行き届かない所有者への対応（支援や土地返納など）と伐採された樹木の利用ニーズの定量的な拡大で林業（森林管理）がサステナブルな運営となるような政策を期待します。

(男性 60代 世田谷区)

- 森林・林業は基本的に人間が生活する上で重要なものと考えるので、東京都としてもその整備、環境に十分な配慮・活動をするべきと考えます。

(男性 70歳以上 立川市)

- 災害防止や温暖化対策、また気軽に出かけ自然を体験できる場としての森林の大切さを都民が理解し、携わる人たちが誇りを持てるようになってほしい。

(女性 70歳以上 中野区)

(3) 林業に関する事 119件

- 従事する人が減ってしまい、1人あたりの負担が増えたり管理が大変になったりしているという話は聞いているが、自然が少ない23区からの近くの自然という意味で、大切に守っていききたい。林業に従事するといったように直接役に立つことはできないが、そういった支援に関して一助になれるように協力をしていきたい。

(男性 10代 江東区)

- 私は家族や親戚、友達の中に林業に携わっている人がいないので知らないことがたくさんあります。森林や林業に関わる方々が減少している現在、私のような人がより増加しているように思います。まずは、林業従事者の方が快適にお仕事ができるよう、経済面での支援の促進をしたり、SNSでの広報により知名度を高めたりしていただけたら嬉しいです。

(女性 10代 武蔵野市)

- 林業に限った話ではないですが、人口減少による働き手の不足は大きな問題。AIを駆使し機械化、効率化を進め、まだ発展途上ではあるフィジカルAIの現場での展開を企業と考えていくことが重要と考えます。

(男性 20代 中野区)

- 森林を適切に管理することが、災害の抑止になり、都民の安心安全な暮らしに繋がることを都民が理解できるといいと思います。林業の仕事は大変だと思いますが、やりがいを持てる仕事だということが若い人にも伝わるといいと思います。待遇を良くして働く人を呼ぶだけでは仕事は長く続かないのではないかと思いますので、エッセンシャルワーカーとしての責任を持って適性のある人が働ける場になるといいと思います。

(女性 30代 東村山市)

- 林業に限らずですが、若い世代の定着と、人手の循環が必要だと思います。小学生、中学生の体験学習で認知を広げつつ、収入の安定、副業など働きやすさ、安全面の整備が必要なのかな、というイメージです。

(女性 40代 西東京市)

- 東京都の森林は、水源の涵養や土砂災害の防止、生物多様性の保全、二酸化炭素の吸収など多面的な役割を担っています。今後は、適切な間伐や再造林を推進し、森林の健全な循環を確保するとともに、国産材・多摩産材の利用拡大や木造建築の普及を進めることが重要です。また、林業の担い手育成やICT・スマート林業の導入、森林環境教育や観光資源としての活用を進めることで、森林の公益的機能と地域経済の活性化を両立させることが望まれます。

(男性 50代 墨田区)

- 職業に対する理解が遅れているように思います。若い方、転職者などの就業先として魅力的であると伝えることが重要です。そのためには、給与・福利厚生の上昇、労働環境の整備などを早急に行うべきと考えます。息の長い東京の林業を支え維持していくためには、まずもって人材育成だと考えます。

(男性 60代 中野区)

- 林業作業の効率化のため、機械化、ロボット化、AIの有効活用が必要と思われます。

(男性 70歳以上 大田区)

(4) 花粉症に関すること 68件

- 花粉症にはかなり悩まされているので、花粉の少ない木を増やす活動を是非推進して欲しい。上記の花粉の少ない木についてもだが、東京での森林や林業に関わることにあまり知らなかったのも、もっと知る機会が増えると良いと思う。

(男性 10代 八王子市)

- 毎年花粉症で苦しんでいるので、花粉の少ないスギの木を増やしてください。また、林業に携わる人たちの待遇をもっと良くしてください。

(男性 20代 目黒区)

- 東京都でも森林や林業を守るために様々な取組が行われていることを知りました。特に、花粉が少ない木への植え替えを進めていることは今回初めて知り、とても興味深かったです。

また、林業に携わる人を増やすためには、給与や福利厚生の実績だけでなく、安全面も含めた働きやすい環境づくりが大切だと思いました。私自身もこれまで林業に触れる機会がほとんどなかったため、子どもの頃から森林や林業を身近に感じられる体験や学習の機会が増えれば将来の仕事としてイメージしやすくなり、林業を目指す人が増えるきっかけになるのではないかと感じました。

(女性 20代 板橋区)

- 東京の森林は、動植物の生育や木の活用、または二酸化炭素の削減などのために貴重な財産だと思います。花粉対策に取り組み、森林を手入れして、東京都として活用してほしいです。森林を身近に感じられる東京の木の取り組みは、とてもよいと思います。

(女性 50代 国分寺市)

(5) 「とうきょうの木」、多摩産材に関すること 46件

- 東京産木材を使ったワークショップ、子ども向けの森林体験や間伐体験などを増やし、森林や林業を身近に感じられる機会を増えることを期待しています。

(女性 20代 江東区)

- 「とうきょうの木」という名称を今回初めて知りました。都市と自然が近い東京の魅力や、森林が持つ水源涵養・災害防止などの役割を広く伝えるためにも、公共施設や駅など都民の目につきやすい場所で積極的に活用し、知名度を高めてほしいです。

(男性 20代 中野区)

- 東京の豊かな森林を次世代へ引き継ぐためには、「とうきょうの木」の認知度向上と利用促進が重要だと考えます。公共施設や民間建築での活用事例を積極的に発信し、都民が身近にその魅力を感じられる機会を増やしてほしいです。また、林業者と木材利用者・事業者とのマッチング支援を強化し、安定した需要と収益を確保することで、担い手の確保や森林整備の促進につなげていくことを期待します。

(男性 30代 北区)

- 私は残念ながら東京都の森林、林業への取組について知りませんでした。公共の施設など身近なところで直接触れることが出来るところに使用されていたら良いと思います。多摩モノレールの駅や車両に使われていたらいいなと思いました。

(男性 40代 稲城市)

■ 東京の水産業

都内で営まれる漁業や養殖などの水産業は、新鮮でバラエティ豊かな水産物を提供していますが、水産資源の減少などにより生産量や漁業者数は減少傾向にあります。

一方、東京には東京湾から伊豆諸島、小笠原諸島に至る広大な海域や、近年、水質浄化の進む多摩川などの河川があり、水産業には大きな潜在力があります。

そこで、社会情勢の変化にあわせた新たな視点を取り込み、水産業をより魅力的な産業としていくために、都政モニターのみなさまに、ご意見をお聞きます。

【水産業】東京都産業労働局 HP

<https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/suisan>



ひき縄漁業(伊豆諸島)

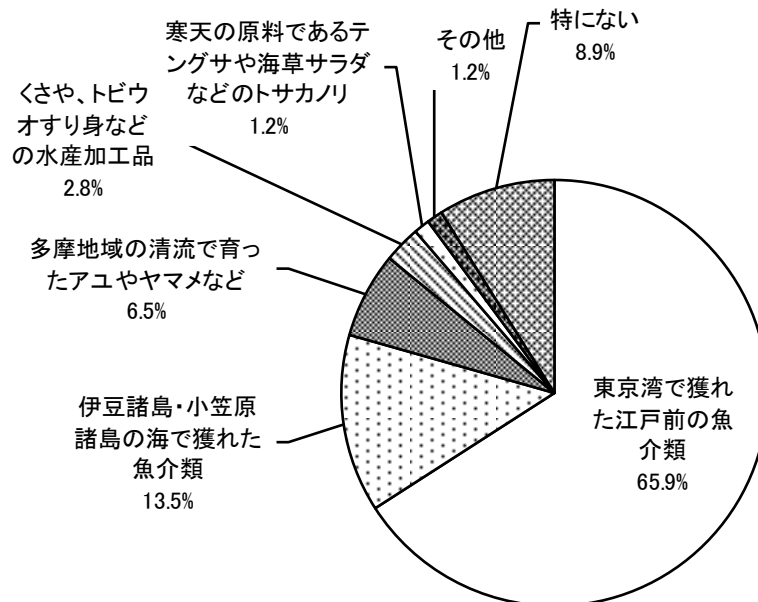


アユ釣りでにぎわう河川(多摩地域)

東京産水産物のイメージ

Q11 東京産水産物のイメージについて、次の中で最も近いものは、どれですか。

(n=496)



【とうきょうの恵み TOKYO GROWN（東京の水産物）】

<https://tokyogrown.jp/product?type=marine>

【調査結果の概要】

東京産水産物のイメージについて聞いたところ、「東京湾で獲れた江戸前の魚介類」（65.9%）が6割半ばで最も高く、以下、「伊豆諸島・小笠原諸島の海で獲れた魚介類」（13.5%）、「多摩地域の清流で育ったアユやヤマメなど」（6.5%）などと続いている。

○東京の水産物の例



江戸前の魚介類(アサリ)



伊豆諸島の魚介類(キンメダイ)



小笠原諸島の魚介類(メカジキ)



多摩地域の魚類(アユ)

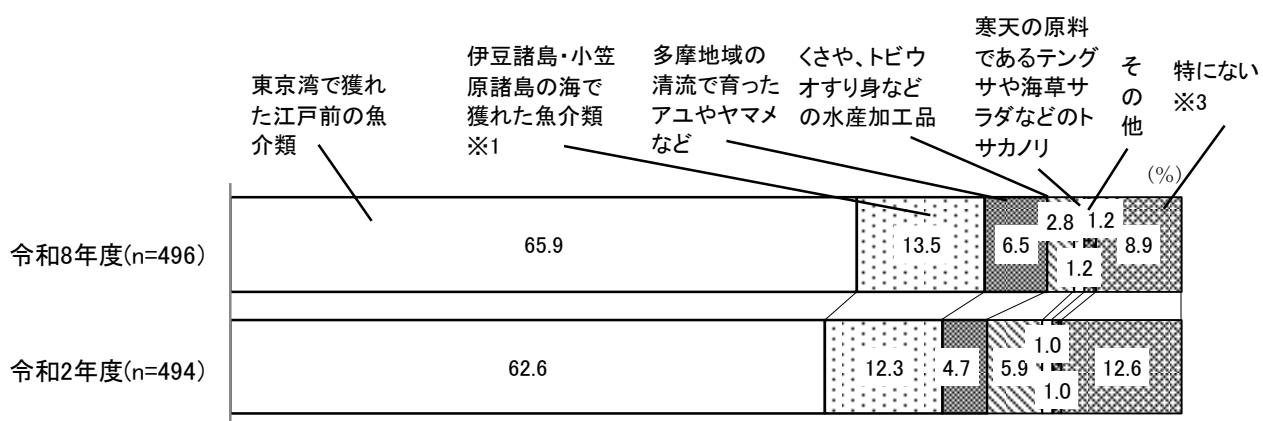


水産物の加工品(くさや)



寒天の原料(テングサ)

◎前回調査との比較　＜前回：令和2年6月実施「東京の農業・水産業」＞

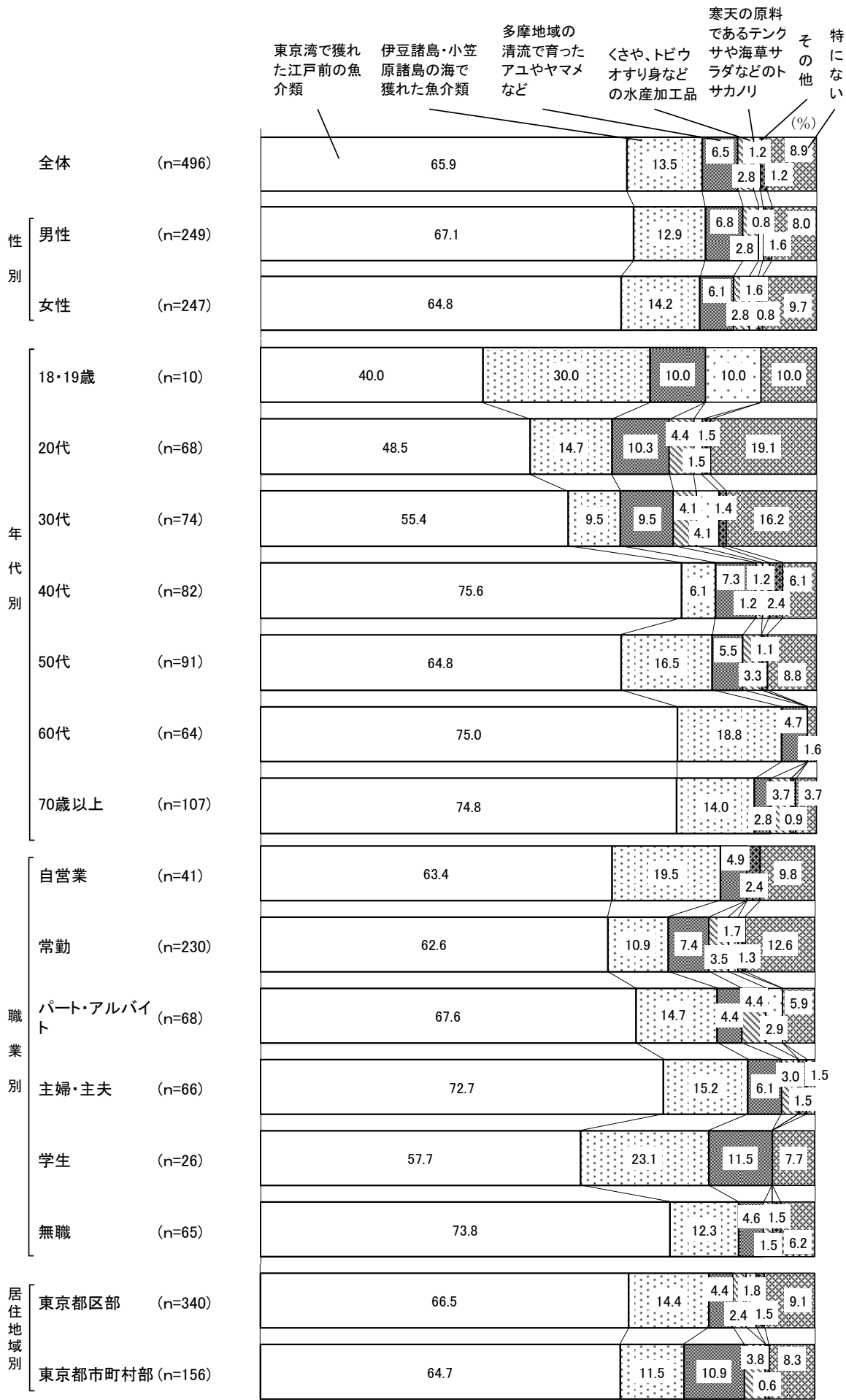


※1 令和2年度は「伊豆・小笠原諸島の海で獲れた魚介類」で集計

※2 令和2年度は「くさやなどの加工品」で集計

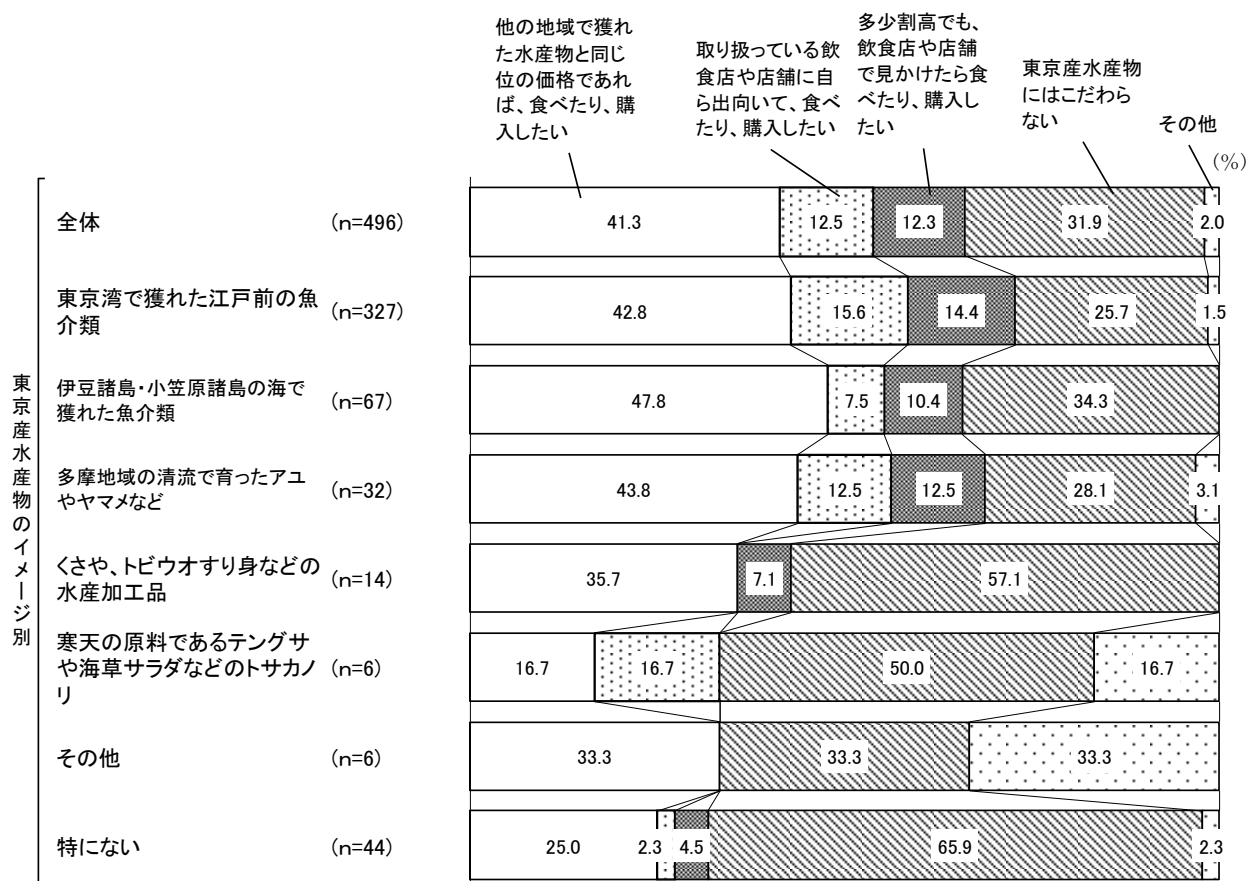
※3 令和2年度は「東京産水産物のイメージがわからない」で集計

◎東京産水産物のイメージ（属性別）



※未回答の選択肢については、0%表示を省略

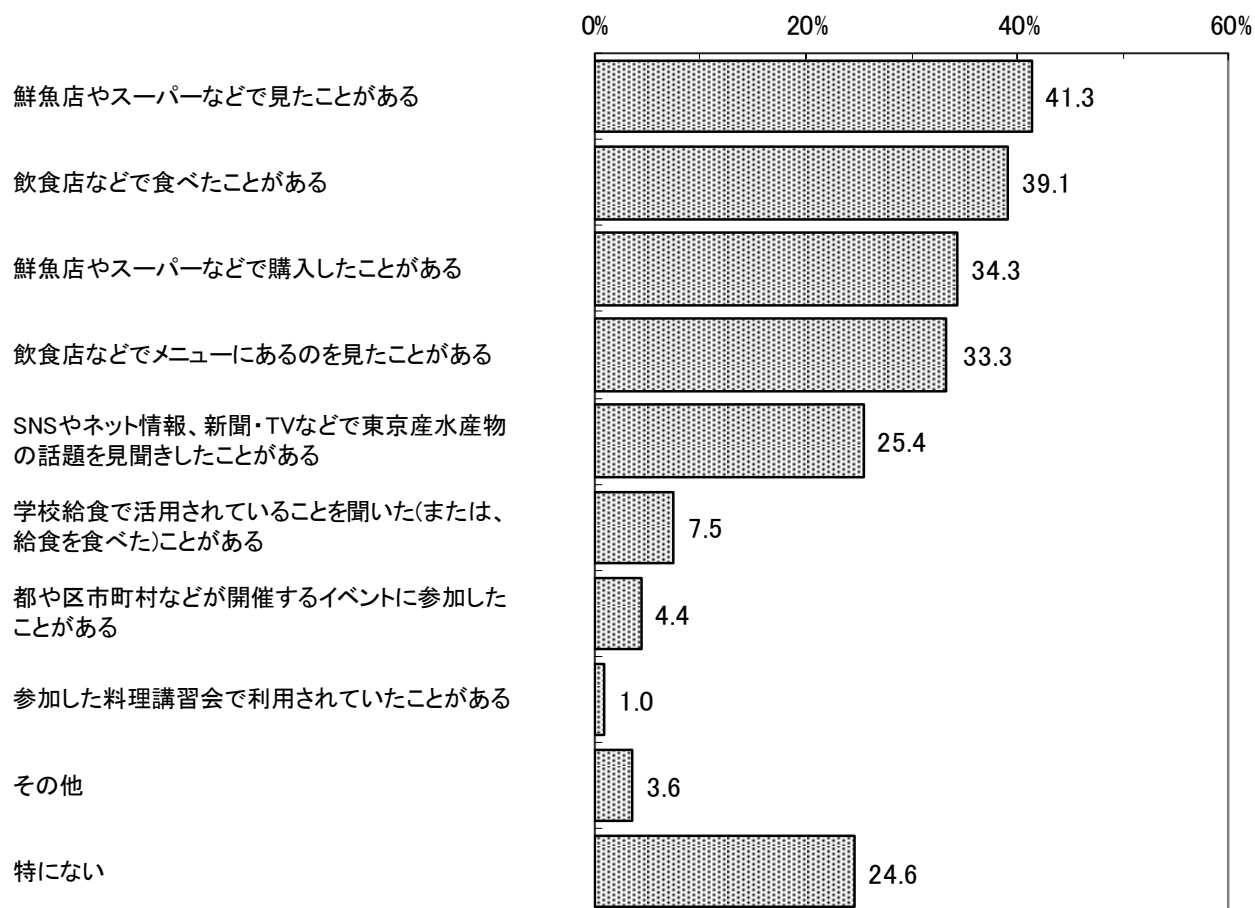
◎東京産水産物のイメージ（東京産水産物の消費意向別：Q13）



※未回答の選択肢については、0%表示を省略

東京産水産物の認知度

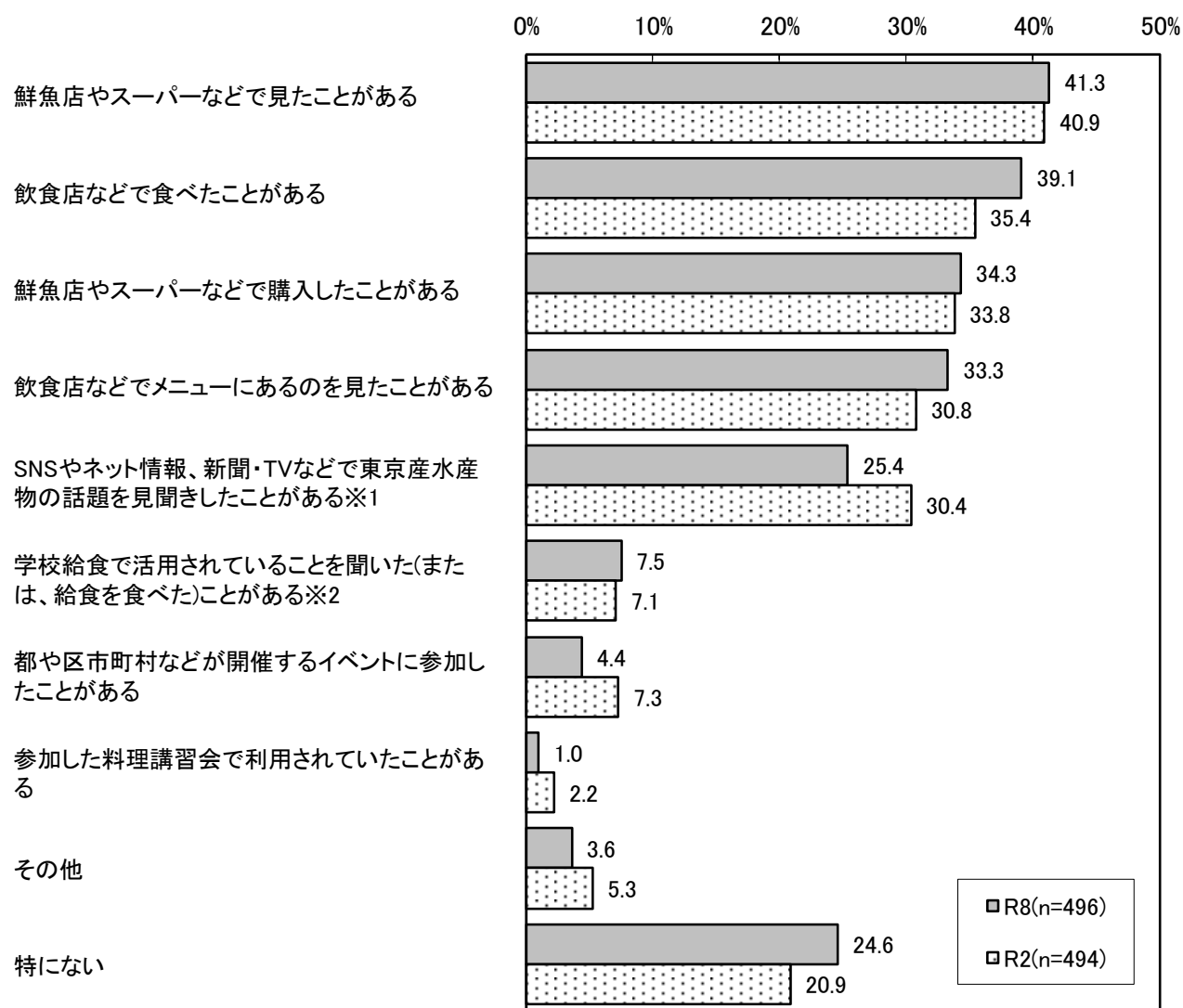
Q12 東京産水産物にどのような形で関わったことがありますか。次の中からいくつでも選んでください。
MA (n=496)



【調査結果の概要】

東京産水産物にどのような形で関わったことがあるか聞いたところ、「鮮魚店やスーパーなどで見たことがある」(41.3%) が4割を超え最も高く、以下、「飲食店などで食べたことがある」(39.1%)、「鮮魚店やスーパーなどで購入したことがある」(34.3%) などと続いている。

◎前回調査との比較 <前回：令和2年6月実施「東京の農業・水産業」>

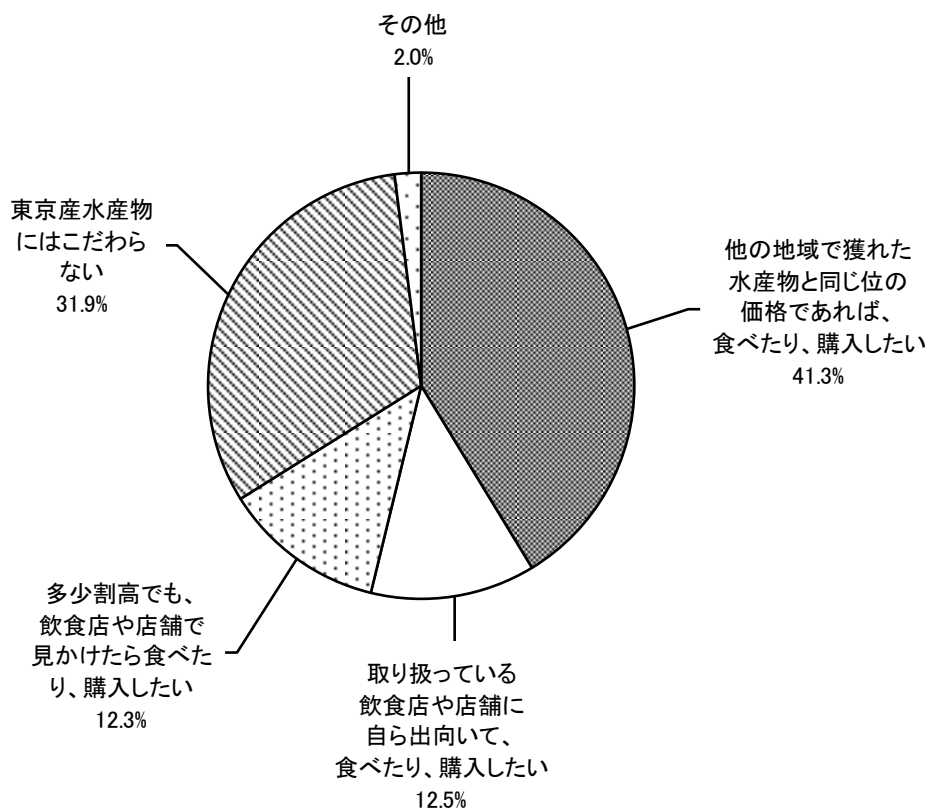


※1 令和2年度は「インターネットやマスメディアなどで東京産水産物の話題を見聞きしたことがある」で集計

※2 令和2年度は「学校給食で活用されていることを聞いたことがある」で集計

東京産水産物の消費意向

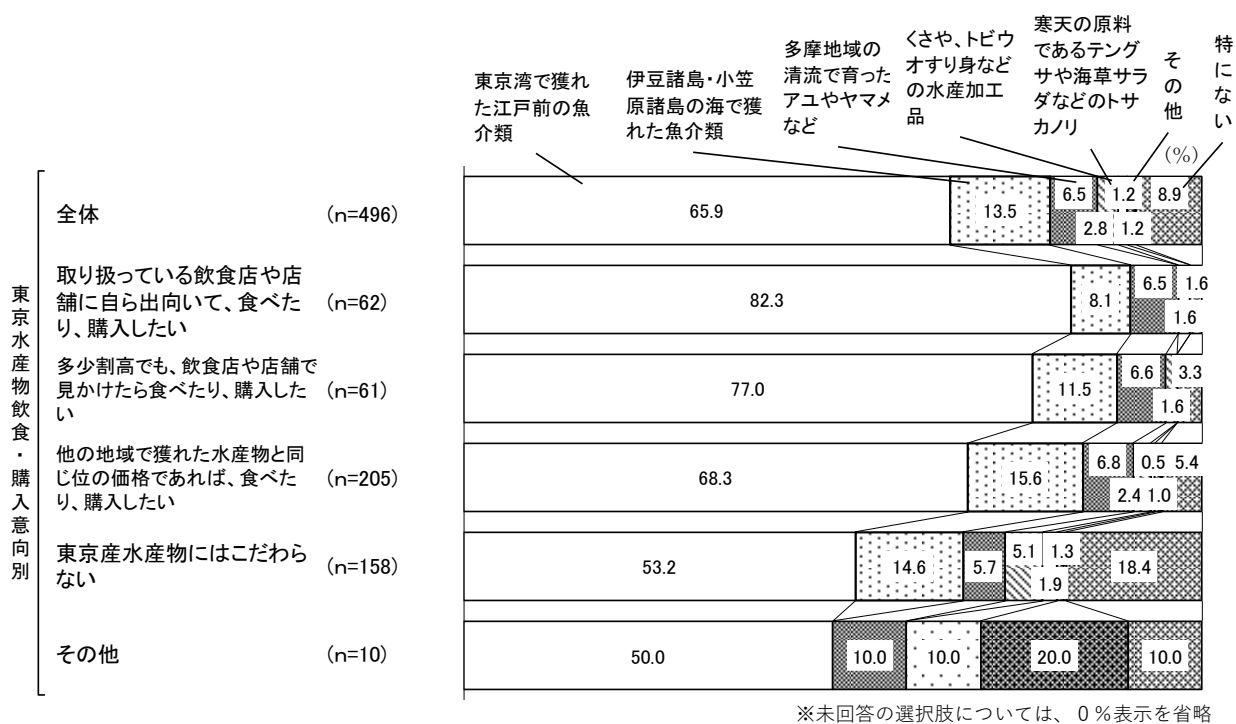
Q13 東京産水産物を飲食店で食べたり、店舗（鮮魚店やスーパー等）で購入したいですか。
(n=496)



【調査結果の概要】

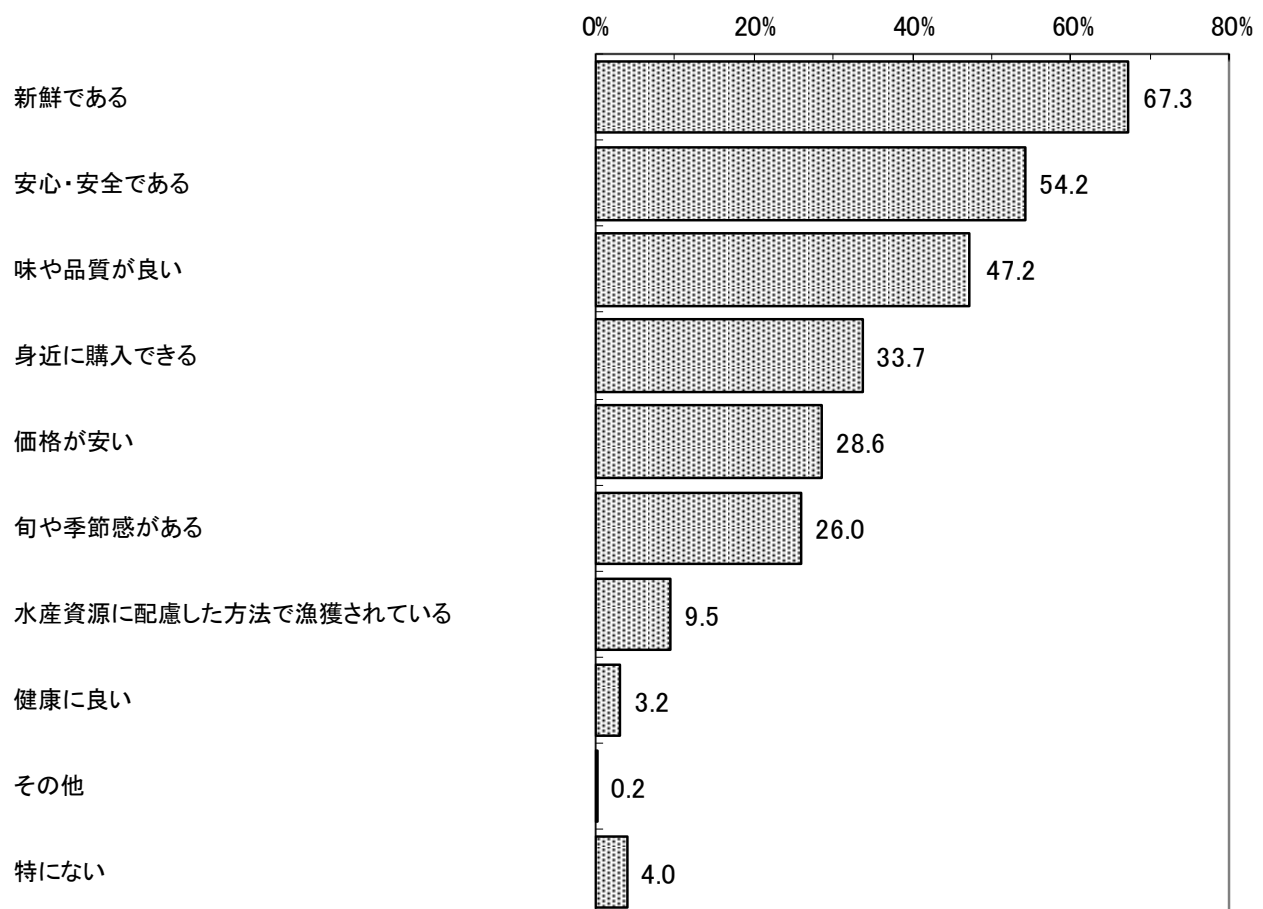
東京産水産物を飲食店で食べたり、店舗（鮮魚店やスーパー等）で購入したいか聞いたところ、「他の地域で獲れた水産物と同じ位の価格であれば、食べたり、購入したい」（41.3%）が4割を超え最も高く、以下、「東京産水産物にはこだわらない」（31.9%）、「取り扱っている飲食店や店舗に自ら出向いて、食べたり、購入したい」（12.5%）などと続いている。

◎東京産水産物の消費意向（東京産水産物のイメージ別：Q11）



東京産水産物への期待

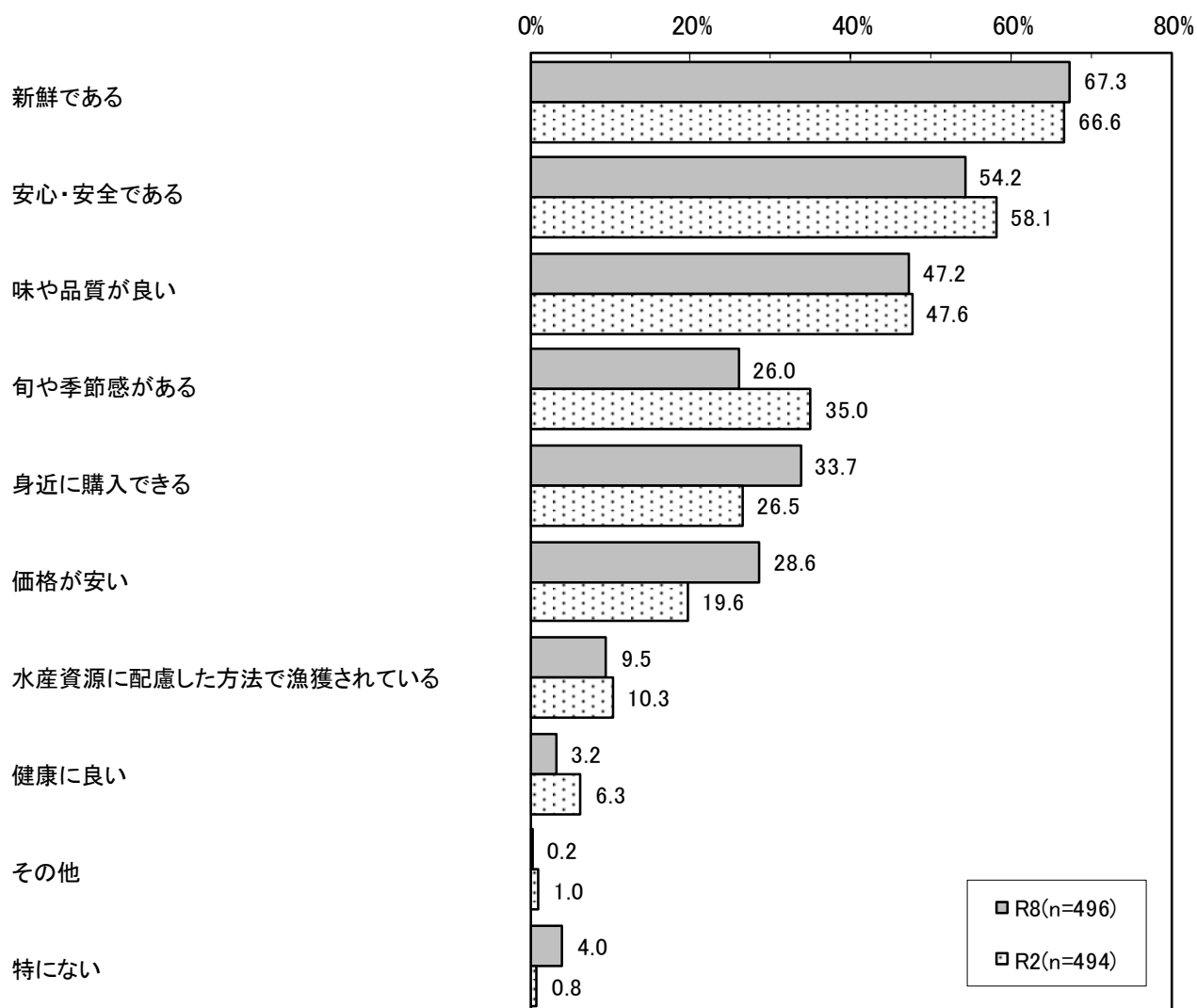
Q14 東京産水産物にどのようなことを期待しますか。次の中から3つまで選んでください。
3MA (n=496)



【調査結果の概要】

東京産水産物にどのようなことを期待するか聞いたところ、「新鮮である」(67.3%) が7割近くと最も高く、以下、「安心・安全である」(54.2%)、「味や品質が良い」(47.2%)などと続いている。

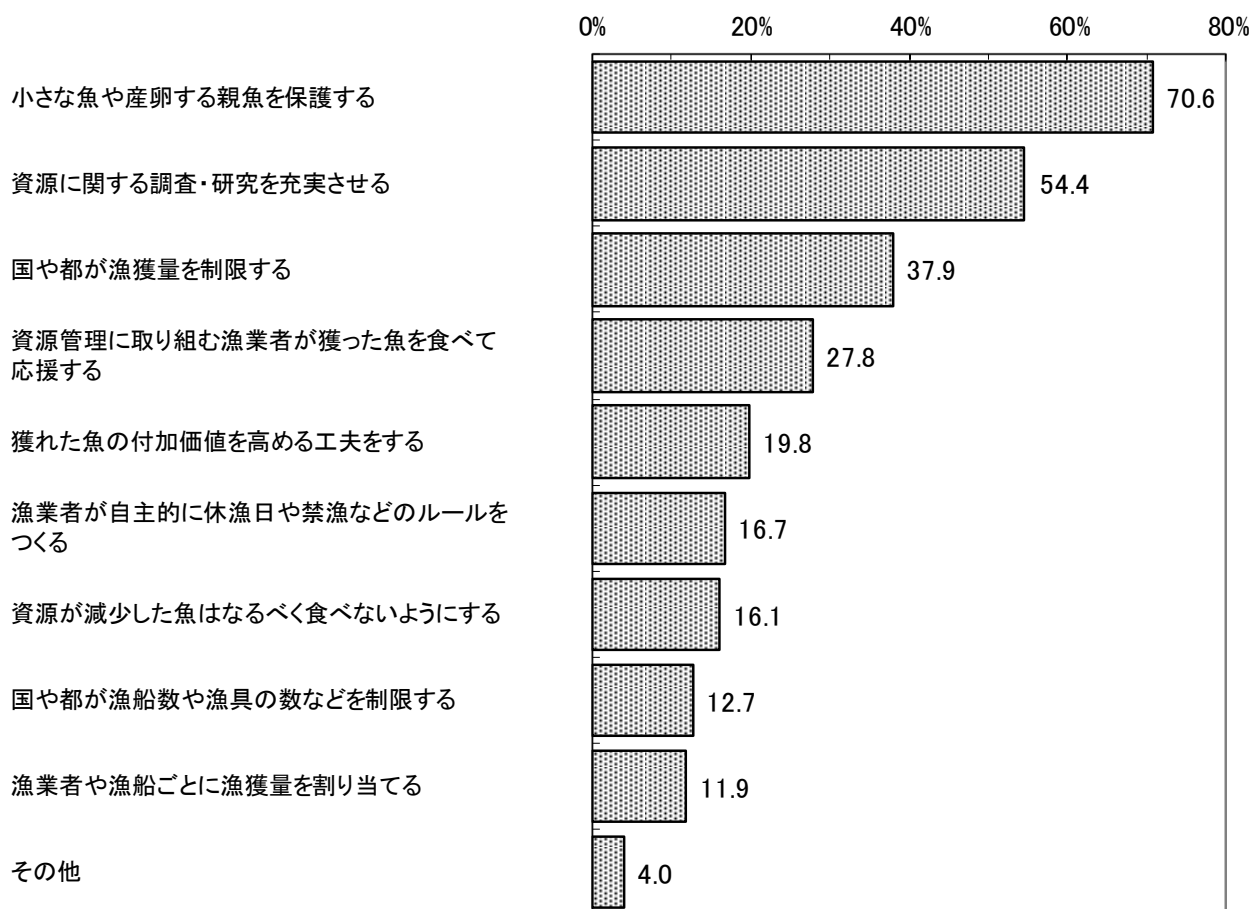
◎前回調査との比較 <前回：令和2年6月実施「東京の農業・水産業」>



水産資源の管理

現在、多くの水産資源は減少傾向にあります。水産資源を持続的に利用していくためには、魚の獲り過ぎを防ぐことや資源を増やすことなど、科学的根拠に基づく資源管理の取り組みを進めていくことが重要です。一方で、漁獲量や漁獲効率が制限されることによる漁業経営への影響についても配慮する必要があります。

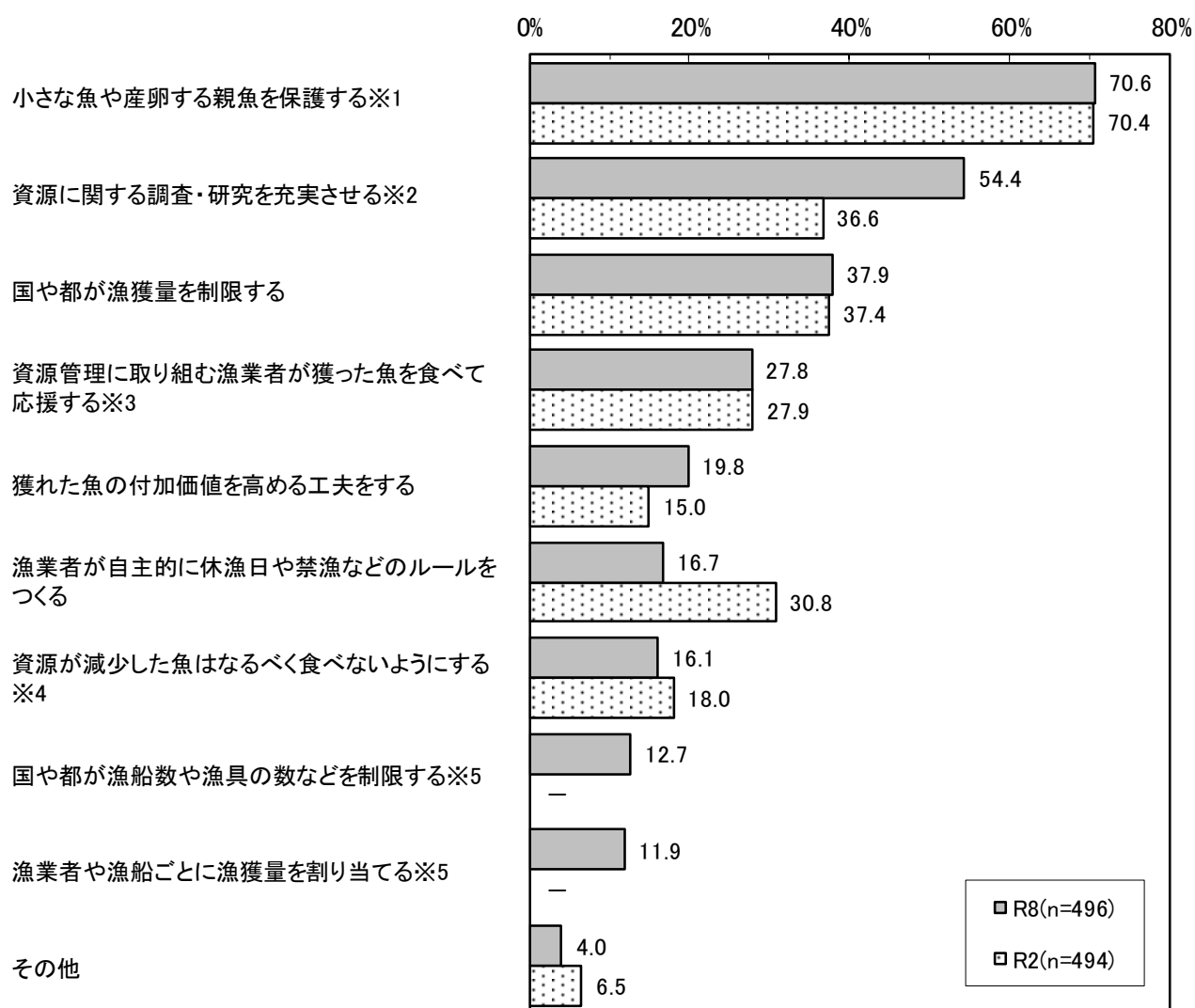
Q15 水産資源を持続的に利用するために有効であると考える取り組みを、次の中から3つまで選んでください。
3MA (n=496)



【調査結果の概要】

水産資源を持続的に利用するために有効であると考える取り組みを聞いたところ、「小さな魚や産卵する親魚を保護する」(70.6%) が約7割と最も高く、以下、「資源に関する調査・研究を充実させる」(54.4%)、「国や都が漁獲量を制限する」(37.9%) などと続いている。

◎前回調査との比較 <前回：令和2年6月実施「東京の農業・水産業」>



※1 令和2年度は「稚魚や産卵する親魚を保護する」で集計

※2 令和2年度は「魚の調査研究を充実させる」で集計

※3 令和2年度は「資源管理に取り組む漁業者により獲られた魚を食べて応援する」で集計

※4 令和2年度は「資源が減少した魚はなるべく食べないようにして保護する」で集計

※5 令和2年度は選択肢なし

水産エコラベル認証制度

近年の水産資源の持続的利用や環境保全に関する国際的な関心の高まりを受け、国際的なガイドラインに基づく資源管理や環境配慮への取り組みを証明する水産エコラベルが、欧米を中心に複数使われています。

日本国内では主に3種類の水産エコラベルが活用されていて、都内の一部スーパーなどでもパッケージやポスター等に認証マーク（エコラベル）が付いた鮮魚や水産加工品が販売されています。

① MEL 認証

水産資源の持続性と環境に配慮した漁業・養殖業により生産された水産物であることを示す日本発のエコラベル。生産段階認証(漁業・養殖)、流通加工段階 (CoC) 認証の3種類の規格がある。



② MSC「海のエコラベル」

水産資源と環境に配慮し持続可能な漁業で獲られた水産物を示すエコラベル。漁業、CoC(流通)の2種類の認証規格がある。管理団体の本拠地はイギリス。

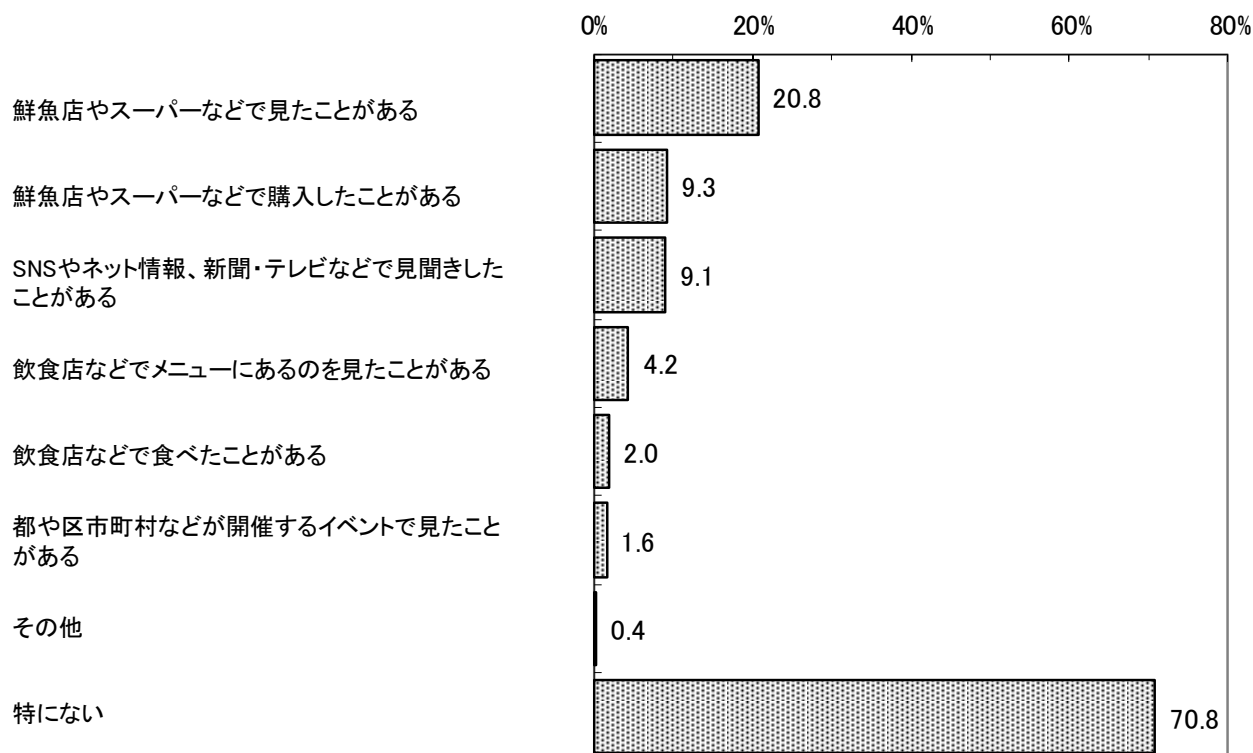


③ ASC ラベル

環境や社会に配慮した養殖によって生産された水産物であることを示すエコラベル。飼料・養殖場・CoC(流通)の3種類の認証規格がある。管理団体の本拠地はオランダ。



Q16 認証マーク（エコラベル）が付いた商品を見たり、食べたりしたことがありますか。次の中からいくつでも選んでください。
MA (n=496)



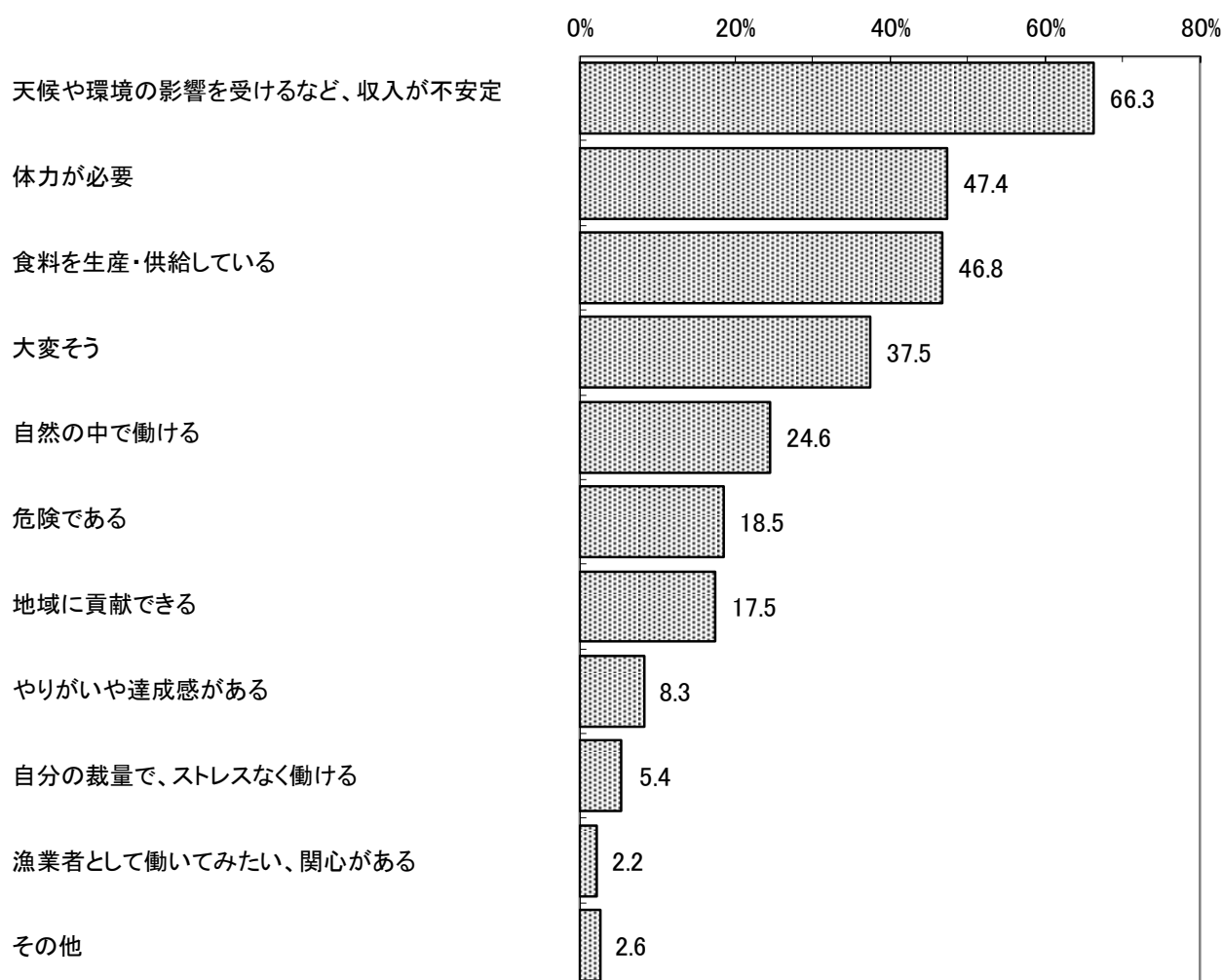
【調査結果の概要】

認証マーク（エコラベル）が付いた商品を見たり、食べたりしたことがあるか聞いたところ、「鮮魚店やスーパーなどで見たことがある」(20.8%) が約2割と最も高く、以下、「鮮魚店やスーパーなどで購入したことがある」(9.3%)、「SNSやネット情報、新聞・テレビなどで見聞きしたことがある」(9.1%) などと続いている。一方、「特になし」(70.8%) は、約7割だった。

職業としての東京の漁業のイメージ

Q17 職業としての東京の漁業について、あなたはどのようなイメージを持っていますか。次の中から3つまで選んでください。

3MA (n=496)



【調査結果の概要】

職業としての東京の漁業について、どのようなイメージを持っているか聞いたところ、「天候や環境の影響を受けるなど、収入が不安定」(66.3%)が6割半ばと最も高く、以下、「体力が必要」(47.4%)、「食料を生産・供給している」(46.8%)などと続いている。

水産業の有する多面的機能

水産業や漁村には、安全で新鮮な水産物を安定的に提供する役割に加えて、海難救助などの生命・財産の保全、レジャーや交流・教育の場の提供、地域文化の継承、地域雇用の創出など、多くの機能があります。



雑海藻の除去（藻場の保全）



海上ごみの回収



アユの産卵場造成（生態系保全）

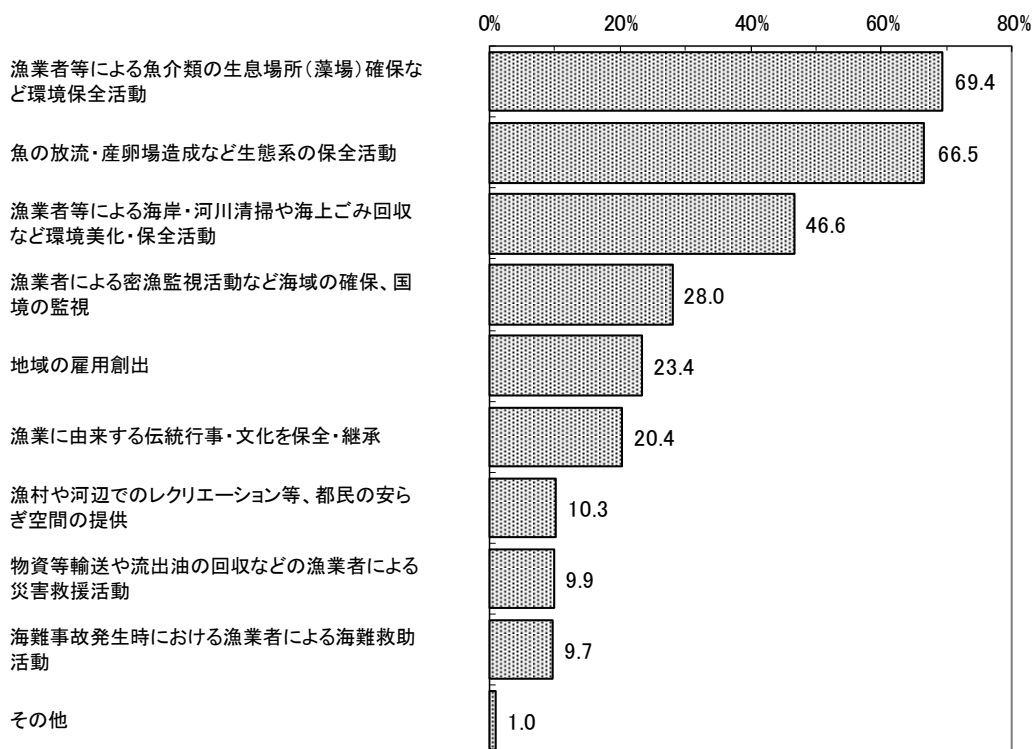


魚食文化の継承（八丈島・島寿司）



都民でにぎわう河川釣り場

Q18 東京の水産業が持つ多面的機能のうち、重要だと思うものを、次の中から3つまで選んでください。
3MA (n=496)



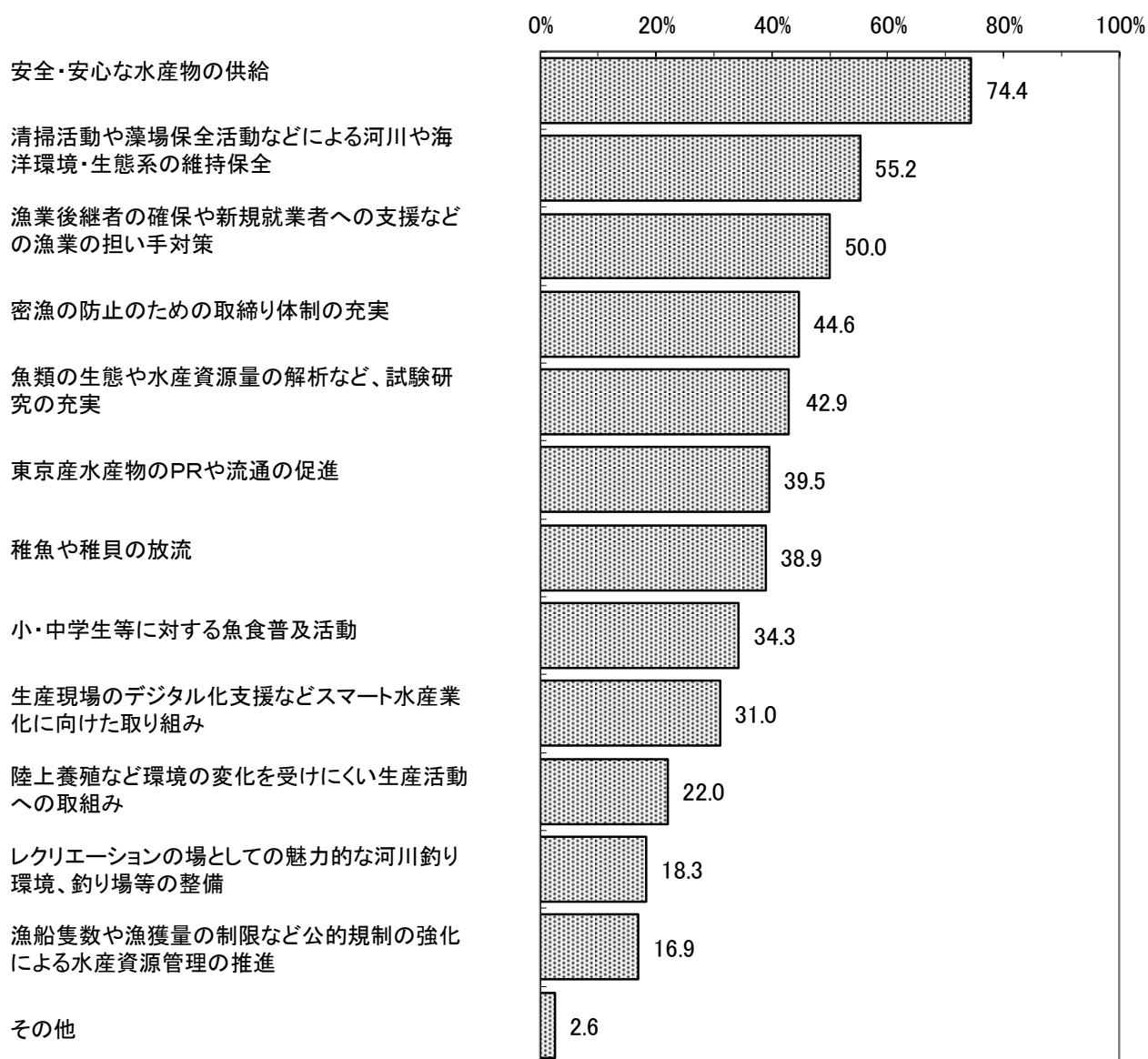
【調査結果の概要】

東京の水産業が持つ多面的機能のうち、重要だと思うものを聞いたところ、「漁業者等による魚介類の生息場所（藻場）確保など環境保全活動」（69.4%）が7割近くと最も高く、以下、「魚の放流・産卵場造成など生態系の保全活動」（66.5%）、「漁業者等による海岸・河川清掃や海上ごみ回収など環境美化・保全活動」（46.6%）などと続いている。

東京都の水産業振興施策

東京都は、川や海の豊かさを守り、漁業を地域の魅力ある産業とするために、様々な取り組みを進めています。一方で、地球温暖化等の影響や、漁業者の高齢化による担い手不足などにより漁業生産量は減少しています。

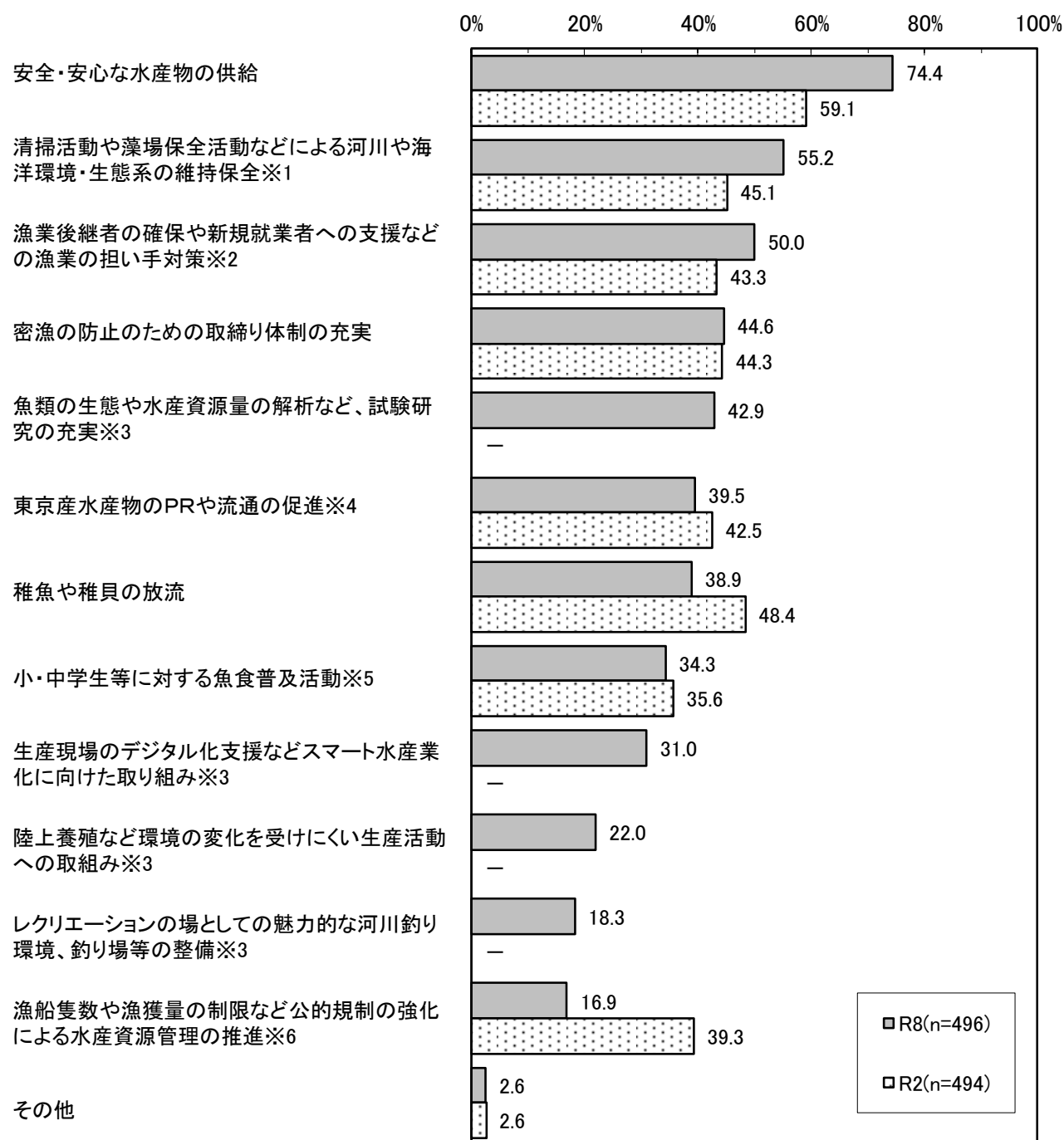
Q19 東京都の水産業振興施策として、どのようなことを望みますか。次の中からいくつでも選んでください。
MA (n=496)



【調査結果の概要】

東京都の水産業振興施策として、どのようなことを望むか聞いたところ、「安全・安心な水産物の供給」(74.4%)が7割半ばと最も高く、以下、「清掃活動や藻場保全活動などによる河川や海洋環境・生態系の維持保全」(55.2%)、「漁業後継者の確保や新規就業者への支援などの漁業の担い手対策」(50.0%)などと続いている。

◎前回調査との比較 <前回：令和2年6月実施「東京の農業・水産業」>



※1 令和2年度は「調査研究や清掃活動による河川や海洋環境の保全」で集計

※2 令和2年度は「漁業後継者・新規就業者支援」で集計

※3 令和2年度は選択肢なし

※4 令和2年度は「東京の水産業や東京産水産物のPR」で集計

※5 令和2年度は「小・中学生に対する魚食普及」で集計

※6 令和2年度は「漁船隻数や操業海域、漁獲量の制限など公的規制の強化」で集計

東京産水産物や東京の水産業について（自由意見）

Q20 東京の海や水産業（卸売業・小売業などの流通は除く。）・水産物に対するイメージ、東京の水産業振興について、ご意見をご自由にお書きください。

（自由意見）

(n=480)

- | | | |
|-----------------|-------|------|
| (1) 東京産水産物全般 | | 166件 |
| (2) 水産業に関する事 | | 117件 |
| (3) 東京の海・川に関する事 | | 112件 |
| (4) 広報、普及啓発 | | 85件 |

（主なご意見）

(1) 東京産水産物全般 166件

- 都民の食を支えて欲しい (男性 20代 大田区)
- 八丈島を訪れたときに島寿司をいただきました。東京に海鮮のイメージを持たれないのはとても残念です。他県と比べて東京の水産業はここがすごいというポイントを観光、魅力発信に繋げられたらと思います。
(女性 20代 杉並区)
- 東京の水産業について印象がなく、このアンケートで初めて知ったことが多かった。どこで東京産の水産物を購入できたり、食べることができるのか全くわからないので、それが知ることができる機会があると良い。
(女性 30代 江東区)
- 特に東京都の水産業に対してイメージを持っていなかったが、実際にスーパーで販売されていたら是非購入してみたいと思う。
(男性 30代 江戸川区)
- 水産物は鮮度が命というイメージがあるので、物理的な距離が近いところで獲れた水産物は新鮮なイメージを持てます。東京都は島々が広く広がっているので、水産業に大きな可能性がありそうだとアンケートを通して感じました。
(男性 40代 練馬区)
- 多摩川のアユなどは、東京都の水産資源としては盲点でした。海だけではないこと、多様な文化とともに存在している水産業であることは、より積極的に発信をしても良いように思います。せっかく離島のある東京都ならではの水産資源を、より身近に購入できる場があると嬉しいです。
(女性 40代 調布市)
- 東京湾で採れた水産物を地産地消の意味で、小学生や中学生の給食に提供してほしい。
(男性 50代 葛飾区)

- 東京の水産物というと「江戸前寿司」くらいしかイメージが湧かなかった。今回のアンケートに参加して、理解が深まった。今後スーパーなどで買い物をする際、ラベルなどを気にして、可能であれば東京の水産物を購入するよう心がけたいと思った。

(女性 60代 武蔵野市)

- 江戸前の魚は日本の伝統的な食文化であり、大切にしていきたい。

(男性 70歳以上 西東京市)

(2) 水産業に関すること

117件

- 東京には島しょ部を含む豊かな海があり、水産業は地域の食文化や観光を支える大切な産業だと思います。一方で、漁業従事者の減少や海洋環境の変化などの課題もあるため、資源管理や担い手の育成、東京産水産物の魅力発信を進め、持続可能な水産業の振興につなげてほしいと考えます。

(男性 20代 品川区)

- 東京の水産業は、東京湾から伊豆諸島・小笠原諸島まで多様な漁場を有し、首都圏にありながら豊かな水産資源に恵まれていることが大きな魅力です。一方で、漁業者の高齢化や後継者不足が課題となっており、新規就業者への支援や担い手確保の取組を強化する必要があると考えます。また、東京産水産物の魅力を積極的にPRし、消費者や飲食店とのつながりを深めることで、東京の水産業の活性化につなげてほしいです。

(男性 30代 北区)

- 東京の新鮮でおいしい水産物をもっと身近に手頃な価格で買えるとうれしいです。地元でとれた魚を積極的に選ぶことで、東京の水産業を応援していきたいと思います。

(女性 30代 板橋区)

- 東京は大都市という印象が強い一方で、東京湾や伊豆諸島・小笠原諸島など豊かな海に恵まれ、多様な水産資源があることが魅力だと思います。近年は海洋環境の変化や漁業従事者の減少など課題も多いため、資源管理や環境保全を進めながら、持続可能な水産業を支援していくことが重要だと考えます。また、東京産の水産物の魅力を広く発信し、都民が身近に感じられる機会を増やすことで、水産業への理解と応援の輪が広がることを期待しています。

(女性 40代 北区)

- 東京の魚介類はとても貴重な資源です。都会にも関わらず新鮮な魚介類を食べることが出来るのは、東京都の大きな強みです。また、密漁や密入国者の監視という意味でも大きな意義があります。にもかかわらず、漁業は危険、不安定などのネガティブなイメージが付きまとっていることに危機感を覚えます。漁業関係者の待遇改善を切に願います。

(男性 50代 目黒区)

- 都内の水産業全般についてあまり知る機会はなく、首都圏では神奈川、千葉、茨城がその業態を担っていると感じていた。今回のアンケートにて東京都で水産業に従事している人や水産物が流通していることを知った。観光・レジャーとして魚類の捕獲以外に産業としての取り組みを東京都に期待したい。

(男性 50代 町田市)

- 後継者問題の対応が最優先と考える。小笠原諸島へ若者が後継者になるべく船に乗り働いている番組を見たが、若者が働ける環境を支援する事も必要ではないか。江戸前の魚は漁獲量が限られており中々私どもの口に入らないが継続的な漁獲を確保する施策を講じて欲しい。

(男性 60代 八王子市)

- 東京の水産物の新鮮で安全性を確保するために、今後も水産資源を守りながら、持続可能な漁業を進め、東京産の水産物の魅力を広く知ってもらえるよう期待しています。

(女性 70歳以上 渋谷区)

(3) 東京の海・川に関すること

112件

- 東京の水産業は島に限られたもので本土では行われていないというイメージだった。今回、東京湾をはじめ、身近な場所で漁業が行われていることを学んだ。

(男性 20代 世田谷区)

- 東京湾での漁業のイメージが強く、島嶼部での水産業については初めて知ることが多かったです。言われてみれば東京は海も山もあり、自然へのアクセスが比較的容易なのだなと気が付かされました。

(女性 30代 江東区)

- 東京の海は、にぎやかな都市のすぐそばにありながら多様な魚介類を育む力を持っています。特に東京湾の漁業は環境改善の努力によって水質が向上し、アサリやノリなどの生産が続いている点に価値があります。また島しょ地域ではキンメダイやクサヤなど個性ある水産物が東京の食文化を支えています。水産業振興には漁場環境の保全や若い担い手の育成、島しょ地域との連携強化が重要だと思います。都市に住む人が海の恵みを知り漁業の魅力に触れる機会が増えることで、東京の海の未来はさらに明るくなると考えます。

(女性 40代 文京区)

- 東京湾や伊豆諸島・小笠原諸島の豊かな海は東京の大切な財産だと思います。一方で、都民が東京産の水産物に触れる機会はまだまだ少ないと感じます。資源管理や漁場環境の保全を進めるとともに、東京産水産物の魅力や安全性を積極的に発信し、地産地消や水産業の担い手確保につなげてほしいです。

(男性 40代 葛飾区)

- 東京都の水産業は、東京湾や伊豆諸島・小笠原諸島の豊かな海洋資源に支えられています。今後は、資源管理の徹底や漁場環境の保全、栽培漁業の推進により持続可能な漁業を実現することが重要です。また、ブランド水産物の付加価値向上や地産地消の促進、観光・飲食産業との連携、ICTを活用したスマート漁業の導入を進めることで、漁業者の所得向上と地域の活性化を図り、将来にわたり安定した水産業を育成していくことが望まれます。

(男性 50代 墨田区)

- 私が若い頃より東京湾がきれいになっているイメージがある。ただどれほどの漁獲量があるのかは知らないし、スーパーでも見ることはない。たまに飲食店で見かけることはあるが高価だと思う。もっと身近になれば嬉しい。

(女性 70歳以上 国立市)

(4) 広報・普及啓発

85件

- 東京の水産業は都民にもあまり知られていないため、情報発信が不足していると感じます。SNSや観光施策と連携して「東京産の魚」を積極的にPRし、飲食店や学校給食での活用を増やしてブランド価値を高めるべきです。同時に、海洋環境の保全や漁業者への設備投資支援を進め、持続可能な水産業の実現を期待します。

(男性 20代 新宿区)

- 東京都で水産業が行われているイメージが全くありませんでした。ぜひ、東京都で行われている水産業についてもっとPRしてほしいです。

(男性 30代 立川市)

- 正直あまり東京の水産物について意識したことはなかった。自分は市部生まれ市部育ちなので東京湾からも遠く親近感が薄いからかもしれない。学校での教育や、市部での東京産水産物のマーケットなど開催すると認知度も上がると思う。

(女性 30代 三鷹市)

- 東京都にも伊豆大島や小笠原諸島など、水産業がさかんな地域がありますが、一般の店舗でその商品がなかなか購入できない気がします。イベントなどで東京都の水産業を紹介したりして、もっとみんなが気軽に購入できれば、水産業もより発展していくように思います。

(女性 50代 国分寺市)

- 地産地消の考え方からすれば、流通的に東京の海産物を買って食べることが望ましい。新鮮さや、安価なことをアピールすることが必要と思う。

(男性 70歳以上 大田区)